

塩竈市震災復興計画策定に関する  
市民意向調査

報 告 書

平成 2 3 年 8 月

塩竈市



序．調査の概要	1
1．回答者属性	2
問1 性別	2
問2 年齢	3
問3 震災前の職業	4
問4 現在の復職状況	5
問5 世帯の人数	6
問6 高齢者の有無	7
問7 震災前の住まい	8
2．住まいの被害状況	9
問8 住まいの被害状況	9
問9 現在の住まいの状況	11
問10 日常生活の状況	12
3．地震発生直後の避難について	15
問11 地震発生時にいた場所	15
問12 具体的にどこにいたか	16
問13 大津波警報を何で知ったか	17
問14 避難したか	18
問15 避難しなかった理由	19
問16 避難時の移動手段	20
問18 避難時に困ったこと	21
4．地震発生時の家族（主な一人）の避難について	22
問19 記述する家族の続柄	22
問20 家族は具体的にどこにいたか	23
問21 家族は大津波警報を何で知ったか	24
問22 家族は避難したか	25
問23 家族が避難しなかった理由	26
問24 家族の避難時の移動手段	27
問26 家族が避難時に困ったこと	28
5．今後の住まいについて	29
問27 今後の居住意思	29
問28 今後の希望する住居形態	30
問31 住み続ける理由	31
問32 今後についての家族の意思統一の有無	32
問33 今後必要な防災対策（複数回答）	33
6．今後の市の復興に向けた取り組みについて	34
問34 復興に向けて必要な取り組み	34
7．地区別集計	36
問9 【地区別】現在の住まいの状況	36
問27 【地区別】今後の居住意思	37
問28 【地区別】今後の希望する居住形態	38
問31 【地区別】住み続ける理由	39
問32 【地区別】今後についての家族の意思統一の有無	40
問33 【地区別】今後必要な防災対策	41
問34 【地区別】復興に向けて必要な取り組み	42
8．被害状況別集計	44
問9 【被害状況別】現在の住まいの状況	44
問27 【被害状況別】今後の居住意思	45
問28 【被害状況別】今後の希望する居住形態	46
問31 【被害状況別】住み続ける理由	47
問32 【被害状況別】今後についての家族の意思統一の有無	48
問33 【被害状況別】今後必要な防災対策	49
問34 【被害状況別】復興に向けて必要な取り組み	50



## 序．調査の概要

### 1) 調査の主旨

被災した世帯における、被災状況、避難の現状、今後の生活再建に対する意向・要望、塩竈市の復興まちづくりに対する意向・提案等を把握し、復興計画の策定に反映するためアンケート調査を実施した。

### 2) 調査の方法

罹災証明書の発行履歴をもとに、塩竈市が対象者の特定を行い、震災により被災した塩竈市内の全世帯の、主として世帯主（もしくは世帯のうちの1人）を対象として実施し、塩竈市を通じて、調査対象者に対して郵送によりアンケート調査票を配布・回収した。

### 3) 調査実施時期

- ・アンケート調査票の郵送：平成23年7月16日
- ・アンケート調査票の回収：平成23年7月26日

### 4) 配布数・回収数・回収率

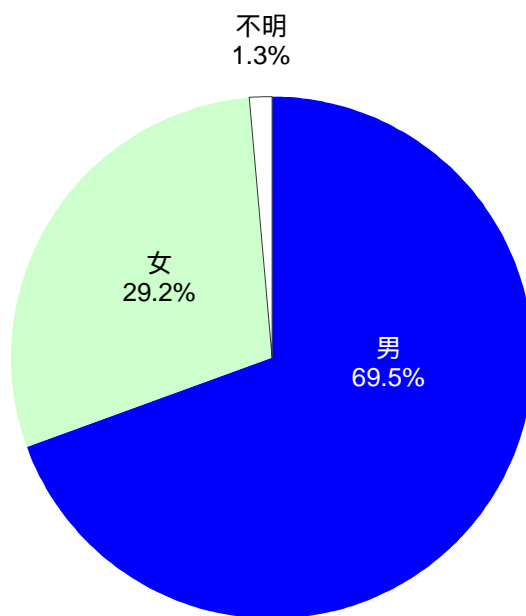
- ・配布数：4,854票
- ・回収数：2,782票
- ・回収率：57.3%

## 1. 回答者属性

### 問1 性別

【問1】あなたの性別を教えてください。（印は1つだけ）

1 男 2 女



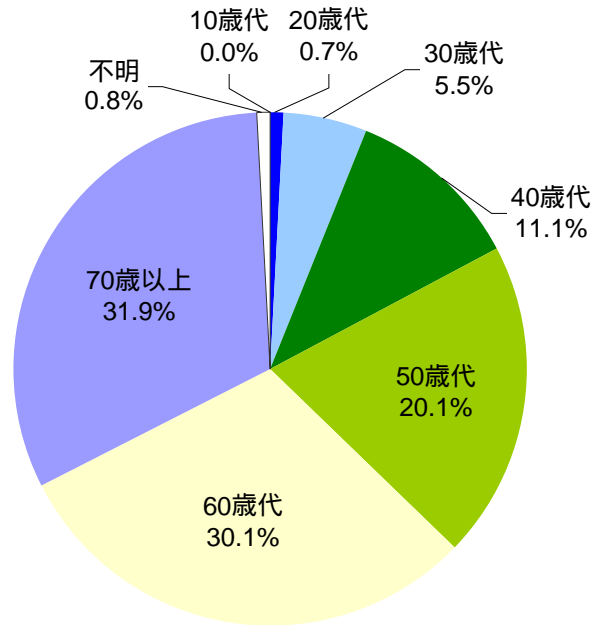
今回のアンケート調査では、被災世帯の世帯主に送付したこともあり、回答者の約70%が男性で、女性の占める割合は約30%になっている。

	合計	問1 性別		
		男	女	不明
全体	2782	1933	812	37
	100.0	69.5	29.2	1.3
本土で津波被害があった地区	1202	806	381	15
	100.0	67.1	31.7	1.2
浦戸地区	119	89	27	3
	100.0	74.8	22.7	2.5
津波被害がなかった地区	1454	1034	402	18
	100.0	71.1	27.6	1.2
不明	7	4	2	1
	100.0	57.1	28.6	14.3

問2 年齢

【問2】あなたの年齢を教えてください。（印は1つだけ）

1	10歳台	2	20歳台	3	30歳台	4	40歳台
5	50歳台	6	60歳台	7	70歳以上		



回答者の年齢は、中高年層が多くを占め、60歳台以上の方が回答者全体の約2/3を占める結果となっている。

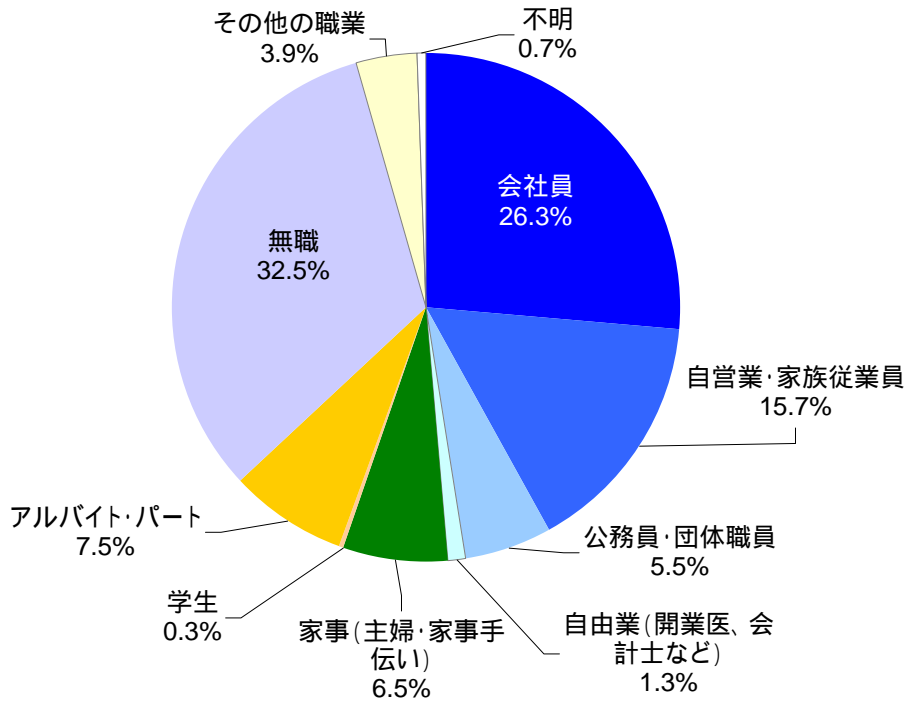
30歳代以下の方は少数にとどまっている。

	合計	問2 年齢							
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明
全体	2782 100.0	1 0.0	19 0.7	152 5.5	308 11.1	558 20.1	836 30.1	887 31.9	21 0.8
本土で津波被害があった地区	1202 100.0	0 0.0	12 1.0	67 5.6	138 11.5	248 20.6	337 28.0	389 32.4	11 0.9
浦戸地区	119 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.8	1 0.8	25 21.0	36 30.3	55 46.2	1 0.8
津波被害がなかった地区	1454 100.0	1 0.1	7 0.5	84 5.8	168 11.6	284 19.5	460 31.6	442 30.4	8 0.6
不明	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	3 42.9	1 14.3	1 14.3

問3 震災前の職業

【問3】あなたの震災前のご職業は何ですか。（印は1つだけ）

- |                  |                |            |
|------------------|----------------|------------|
| 1 会社員            | 2 自営業・家族従業員    | 3 公務員・団体職員 |
| 4 自由業（開業医、会計士など） | 5 家事（主婦・家事手伝い） |            |
| 6 学生             | 7 アルバイト・パート    | 8 無職       |
| 9 その他の職業（ ）      |                |            |



被災された世帯の世帯主の方の職業は、回答者のうちで最も多くを占めたのが「無職」で約33%、次いで、「会社員」が約26%、「自営業・家族従業員」が約16%の順になっている。

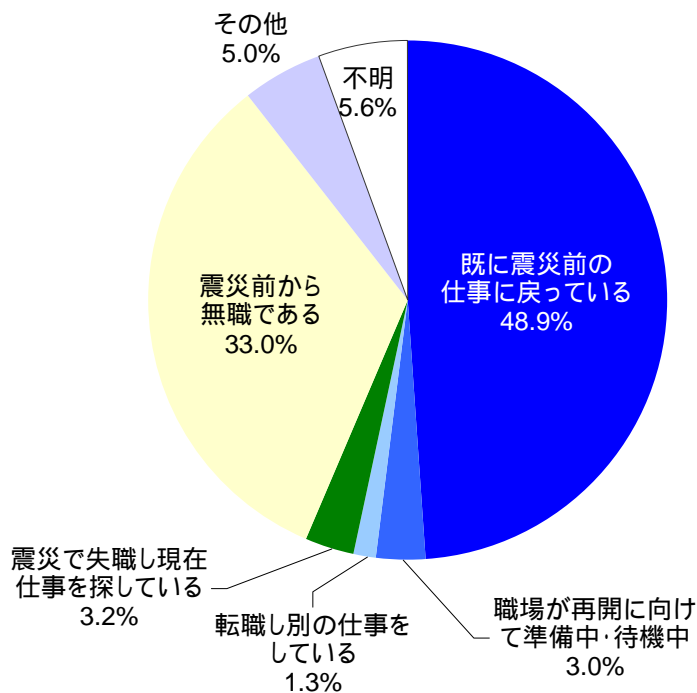
	合計	問3 職業									
		会社員	自営業・家族従業員	公務員・団体職員	自由業（開業医、会計士など）	家事（主婦・家事手伝い）	学生	アルバイト・パート	無職	その他の職業	不明
全体	2782	731	436	152	35	181	7	209	904	108	19
	100.0	26.3	15.7	5.5	1.3	6.5	0.3	7.5	32.5	3.9	0.7
本土で津波被害があった地区	1202	298	263	54	22	71	4	90	343	51	6
	100.0	24.8	21.9	4.5	1.8	5.9	0.3	7.5	28.5	4.2	0.5
浦戸地区	119	14	35	2	0	8	0	6	38	14	2
	100.0	11.8	29.4	1.7	0.0	6.7	0.0	5.0	31.9	11.8	1.7
津波被害がなかった地区	1454	416	138	95	13	102	3	113	521	43	10
	100.0	28.6	9.5	6.5	0.9	7.0	0.2	7.8	35.8	3.0	0.7
不明	7	3	0	1	0	0	0	0	2	0	1
	100.0	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3



問4 現在の復職状況

【問4】現在、震災前の仕事に戻られていますか。（印は1つだけ）

- 1 既に震災前の仕事に戻っている
- 2 職場が再開に向けて準備中、または待機している
- 3 転職し、別の仕事をしている（具体的に )
- 4 震災で失職し、現在仕事を探している
- 5 震災前から無職である
- 6 その他（具体的に )



被災された方のうち、約半数の方が「既に震災前の仕事に戻っている」とされており、最も多くを占めている。

「震災前から無職である」の方も、全体の約1/3を占めている。

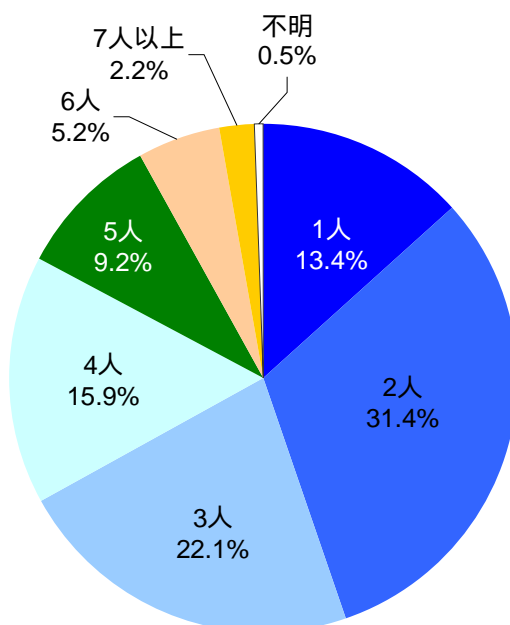
震災によって職や職場が影響を受け、「震災で失職し現在仕事を探している」、「職場が再開に向けて準備中・待機中」、「転職し別の仕事をしている」とする方は少数にとどまっているが、合わせると全体の10%近くの方が職に関する影響を受けたと考えられる。

	合計	問4 震災前の仕事に戻っているのか						
		既に震災前の仕事に戻っている	職場が再開に向けて準備中・待機中	転職し別の仕事をしている	震災で失職し現在仕事を探している	震災前から無職である	その他	不明
全体	2782 100.0	1360 48.9	84 3.0	37 1.3	88 3.2	918 33.0	140 5.0	155 5.6
本土で津波被害があった地区	1202 100.0	633 52.7	48 4.0	17 1.4	37 3.1	340 28.3	63 5.2	64 5.3
浦戸地区	119 100.0	43 36.1	6 5.0	3 2.5	8 6.7	36 30.3	12 10.1	11 9.2
津波被害がなかった地区	1454 100.0	681 46.8	30 2.1	17 1.2	42 2.9	540 37.1	65 4.5	79 5.4
不明	7 100.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0	1 14.3	2 28.6	0 0.0	1 14.3

## 問5 世帯の人数

【問5】世帯の人数は何人ですか。（印は1つだけ）

1	1人	2	2人	3	3人	4	4人
5	5人	6	6人	7	7人以上		



世帯人数は、2人世帯が最も多く回答者全体の1/3の約31%を占め、次いで、3人世帯が約22%と続いている。

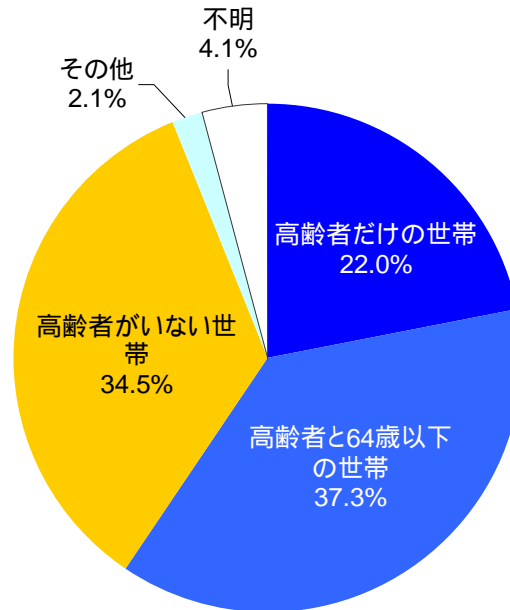
4人世帯以上の世帯人数が多い世帯は、回答者全体の約1/3となっている。

	合計	問5 世帯の人数							
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	不明
全体	2782	374	873	614	442	257	146	61	15
	100.0	13.4	31.4	22.1	15.9	9.2	5.2	2.2	0.5
本土で津波被害があった地区	1202	197	370	261	173	110	58	26	7
	100.0	16.4	30.8	21.7	14.4	9.2	4.8	2.2	0.6
浦戸地区	119	20	46	29	15	6	2	0	1
	100.0	16.8	38.7	24.4	12.6	5.0	1.7	0.0	0.8
津波被害がなかった地区	1454	157	456	321	254	140	85	35	6
	100.0	10.8	31.4	22.1	17.5	9.6	5.8	2.4	0.4
不明	7	0	1	3	0	1	1	0	1
	100.0	0.0	14.3	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3

問6 高齢者の有無

【問6】あなたの世帯に65歳以上の高齢者がおられますか。（印は1つだけ）

- 1 65歳以上の高齢者だけの世帯（高齢者単身世帯、高齢者夫婦だけの世帯）
- 2 65歳以上の高齢者と64歳以下の親族等が同居する世帯
- 3 65歳以上の高齢者がいない世帯
- 4 その他（具体的に ）



「高齢者がいない世帯」は、回答者全体の1/3超で、「高齢者と64歳以下の世帯」が約37%、「高齢者だけの世帯」が約22%で、約60%の世帯で高齢者がいる現状である。

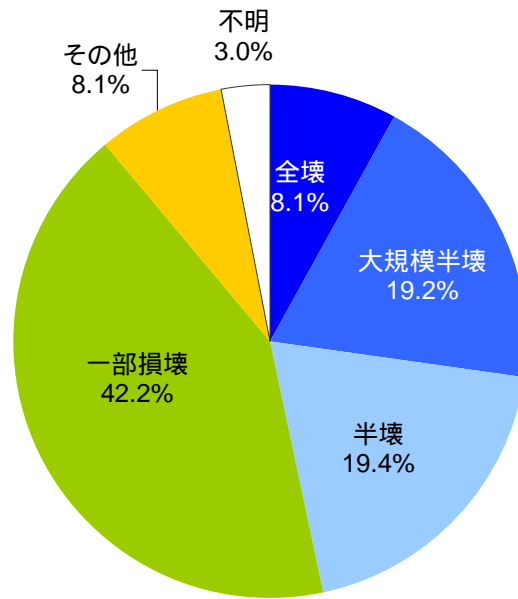
震災時における高齢者への対応が求められるとともに、今後の復興にあたっては、高齢者への対応が必要だと言える。

	合計	問6 65歳以上の高齢者がいるのか				
		高齢者だけの世帯	高齢者と64歳以下の世帯	高齢者がいない世帯	その他	不明
全体	2782 100.0	612 22.0	1038 37.3	960 34.5	59 2.1	113 4.1
本土で津波被害があった地区	1202 100.0	253 21.0	461 38.4	418 34.8	27 2.2	43 3.6
浦戸地区	119 100.0	46 38.7	47 39.5	14 11.8	4 3.4	8 6.7
津波被害がなかった地区	1454 100.0	313 21.5	527 36.2	525 36.1	28 1.9	61 4.2
不明	7 100.0	0 0.0	3 42.9	3 42.9	0 0.0	1 14.3





< 状況 >



回答者の被害状況は、一部損壊が最も多く全体の約 42%を占め、全壊の方は約 8%となっている

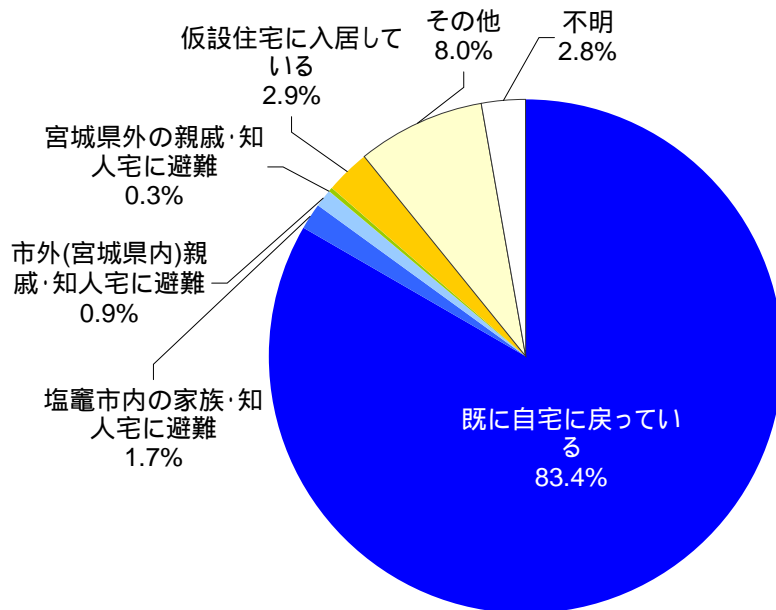
浦戸地区では、約 43%が全壊で、大規模半壊の約 23%や半壊の約 16%を上回っており、本土以上の大きな被害を被ったことが伺える。

	合計	問8-2住まいの被害状況					
		全壊	大規模半	半壊	一部損壊	その他	不明
全体	2782	226	534	540	1173	225	84
	100.0	8.1	19.2	19.4	42.2	8.1	3.0
本土で津波被害があった地区	1202	111	435	232	360	43	21
	100.0	9.2	36.2	19.3	30.0	3.6	1.7
浦戸地区	119	51	27	17	19	3	2
	100.0	42.9	22.7	14.3	16.0	2.5	1.7
津波被害がなかった地区	1454	64	71	291	789	179	60
	100.0	4.4	4.9	20.0	54.3	12.3	4.1
不明	7	0	1	0	5	0	1
	100.0	0.0	14.3	0.0	71.4	0.0	14.3

問9 現在の住まいの状況

【問9】現在のお住まいの状況についてお尋ねします。

- 1 既に自宅に戻っている
- 2 塩竈市内の家族・知人等宅に避難している
- 3 市外（宮城県内）の親戚・知人宅に避難している
- 4 宮城県外の親戚・知人宅に避難している
- 5 仮設住宅に入居している
- 6 その他（具体的に



現在の住まいについては、既に自宅に戻っている方が大部分となっており、約 83%を占めている。

まだ自宅には戻っていない方のうち、仮設住宅に入居している方が約 3%、塩竈市内の家族・知人宅に避難している方が約 2%となっている。

市外に避難している方は、少数にとどまっている。

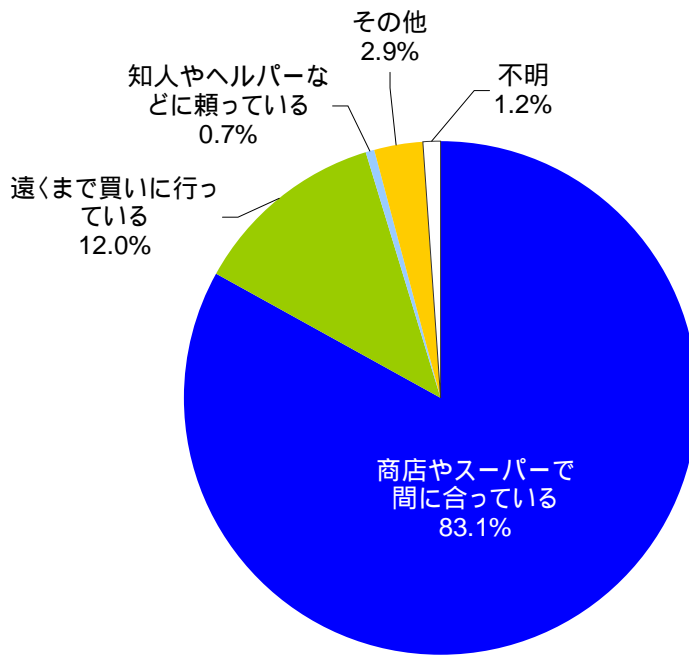
	合計	問9 現在の住まい						
		既に自宅に戻っている	塩竈市内の家族・知人宅に避難	市外(宮城県内)親戚・知人宅に避難	宮城県外の親戚・知人宅に避難	仮設住宅に入居している	その他	不明
全体	2782 100.0	2320 83.4	48 1.7	25 0.9	9 0.3	81 2.9	222 8.0	77 2.8
本土で津波被害があった地区	1202 100.0	1017 84.6	27 2.2	14 1.2	7 0.6	22 1.8	97 8.1	18 1.5
浦戸地区	119 100.0	70 58.8	6 5.0	4 3.4	1 0.8	27 22.7	8 6.7	3 2.5
津波被害がなかった地区	1454 100.0	1228 84.5	15 1.0	7 0.5	1 0.1	32 2.2	117 8.0	54 3.7
不明	7 100.0	5 71.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6

問 10 日常生活の状況

【問 10】日常生活において、買物や病院、子供さんの学校など現在どのようにされていますか。下記の項目ごとに1つだけ 印をつけてください。

買物物

- 1 近くの商店やスーパーで間に合っている
- 2 近くに商店がないので遠くまで買物に行っている
- 3 近くに商店がないので知人やヘルパーなどに頼っている
- 4 その他（具体的に ）



日常の買物については、回答者の大部分の約 83%の方が「商店やスーパーで間に合っている」とされている。

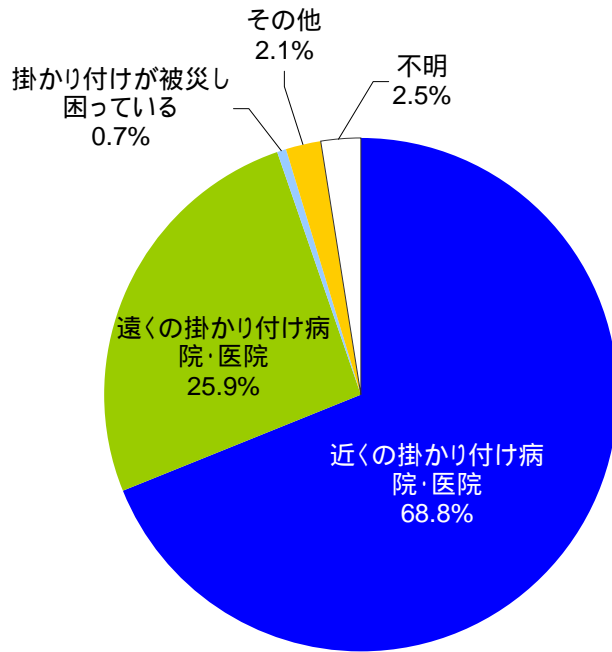
一方で、浦戸地区などで「遠くまで買いに行っている」とする方が約 12%いる。

	合計	問10-1 日常生活(買物)				
		商店やスーパーで間に合っている	遠くまで買いに行っている	知人やヘルパーなどに頼っている	その他	不明
全体	2782 100.0	2313 83.1	335 12.0	19 0.7	82 2.9	33 1.2
本土で津波被害があった地区	1202 100.0	1016 84.5	121 10.1	12 1.0	40 3.3	13 1.1
浦戸地区	119 100.0	20 16.8	80 67.2	1 0.8	13 10.9	5 4.2
津波被害がなかった地区	1454 100.0	1272 87.5	133 9.1	6 0.4	29 2.0	14 1.0
不明	7 100.0	5 71.4	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3



病院

- 1 近くに掛かり付けの病院・医院がある
- 2 遠くではあるが掛かり付けの病院・医院がある
- 3 掛かり付けの病院・医院が被災したため困っている
- 4 その他（具体的に )

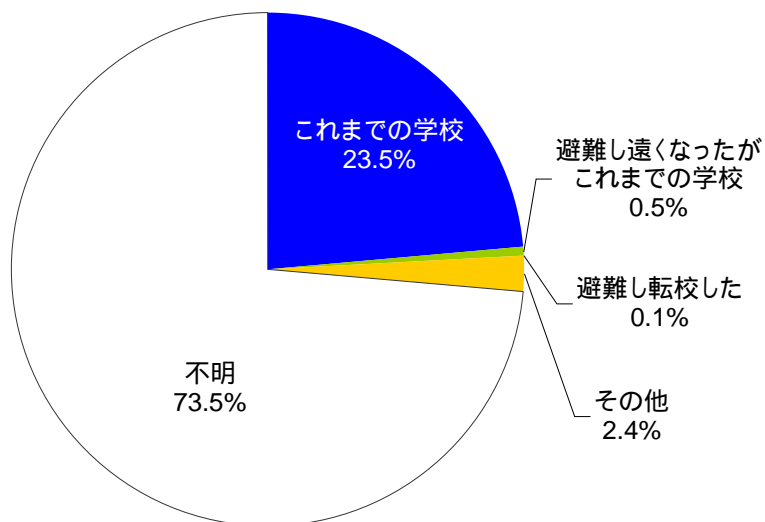


「近くに掛かり付けの病院がある」とする方が回答者全体の約 70%、「遠くに掛かり付けの病院・医院がある」とする方が約 26%と、大部分の方は、掛かり付けの病院・医院を決めている。

	合計	問10-2 日常生活(病院)				
		近くの掛かり付け病院・医院	遠くの掛かり付け病院・医院	掛かり付けが被災し困っている	その他	不明
全体	2782 100.0	1913 68.8	721 25.9	19 0.7	59 2.1	70 2.5
本土で津波被害があった地区	1202 100.0	829 69.0	307 25.5	8 0.7	28 2.3	30 2.5
浦戸地区	119 100.0	19 16.0	85 71.4	1 0.8	8 6.7	6 5.0
津波被害がなかった地区	1454 100.0	1063 73.1	325 22.4	10 0.7	23 1.6	33 2.3
不明	7 100.0	2 28.6	4 57.1	0 0.0	0 0.0	1 14.3

学校

- 1 子供はこれまでの学校に通っている
- 2 これまでの学校に通っているが、避難して遠くなった
- 3 避難したため転校せざるを得なかった
- 4 その他（具体的に )



児童・生徒のいる世帯は、回答者全体のうち約 1 / 4 の世帯と想定されるが、多くの世帯で従来通り「子供はこれまでの学校に通っている」とされ、「これまでの学校に通っているが、避難して遠くなった」とする世帯は、ごく少数にとどまっている。

大半を占める「不明」には、『就学児童・生徒がいない』という回答が含まれている。

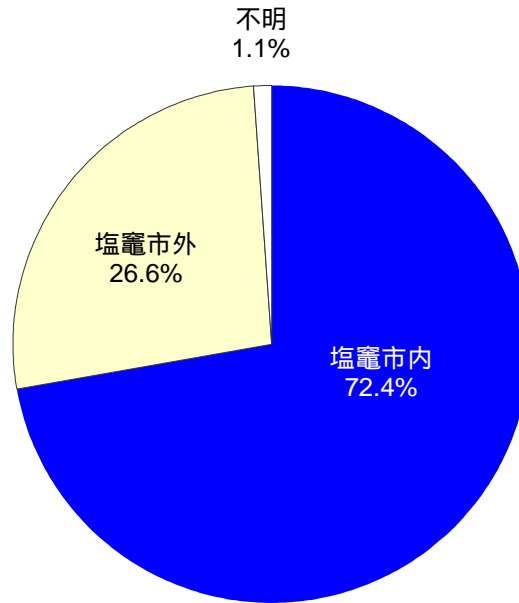
	合計	問10-3 日常生活(学校)				
		これまでの学校	避難し遠くなったがこれまでの学校	避難し転校した	その他	不明
全体	2782	654	15	2	66	2045
	100.0	23.5	0.5	0.1	2.4	73.5
本土で津波被害があった地区	1202	265	7	1	27	902
	100.0	22.0	0.6	0.1	2.2	75.0
浦戸地区	119	10	2	0	4	103
	100.0	8.4	1.7	0.0	3.4	86.6
津波被害がなかった地区	1454	377	6	1	35	1035
	100.0	25.9	0.4	0.1	2.4	71.2
不明	7	2	0	0	0	5
	100.0	28.6	0.0	0.0	0.0	71.4

### 3. 地震発生直後の避難について

問 11 地震発生時にいた場所

【問 11】震災が発生したとき、どこにおられましたか。（印は1つだけ）

1 塩竈市内 2 塩竈市外



3月11日の地震の際に、塩竈市内にいた回答者の方が約3/4、塩竈市外にいた方が約1/4となっている。

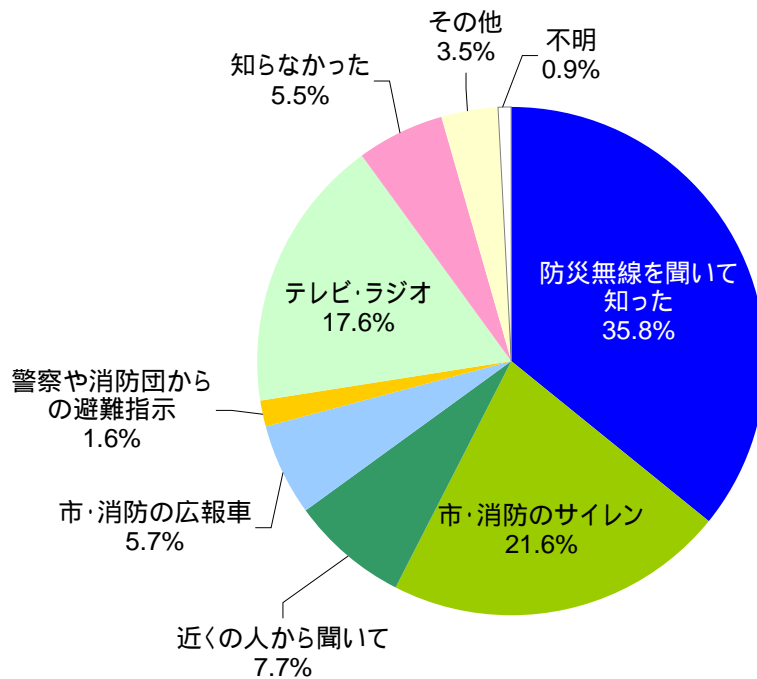
	合計	問11 地震発生時どこにいたか		
		塩竈市内	塩竈市外	不明
全体	2782 100.0	2013 72.4	739 26.6	30 1.1
本土で津波被害 があった地区	1202 100.0	912 75.9	282 23.5	8 0.7
浦戸地区	119 100.0	103 86.6	12 10.1	4 3.4
津波被害がなかつ た地区	1454 100.0	994 68.4	443 30.5	17 1.2
不明	7 100.0	4 57.1	2 28.6	1 14.3



問 13 大津波警報を何で知ったか

【問 13】大津波警報を何で知りましたか。（ 印は1つだけ）

- 1 防災無線を聞いて知った      2 市・消防のサイレンが鳴って知った  
 3 近くの人から聞いて知った      4 市・消防の広報車で知った  
 5 警察や消防団からの避難指示を聞いて知った  
 6 テレビ・ラジオで知った      7 大津波警報を知らなかった  
 8 その他（具体的に



大津波警報については、「防災無線を聞いて知った」とする方が最も多く約 36%を占め、次いで、「市・消防のサイレンを聞いて知った」する方が約 22%、「テレビ・ラジオで知った」とする方が約 18%となっている。

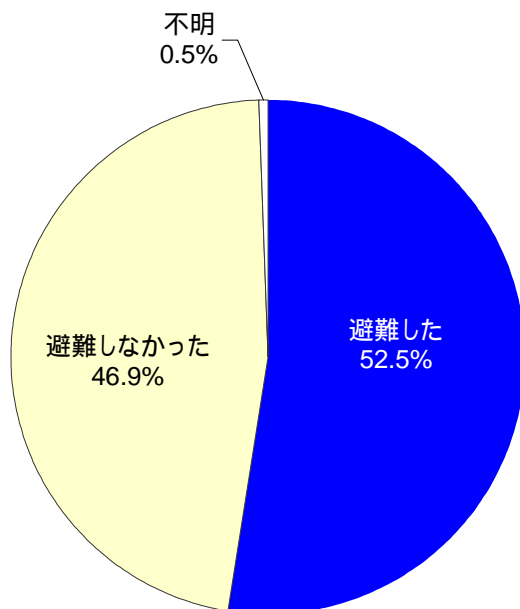
一方で、「知らなかった」とする方も約 6%いる。

	合計	問13 大津波警報を何で知ったのか								
		防災無線を聞いて知った	市・消防のサイレン	近くの人から聞いて	市・消防の広報車	警察や消防団からの避難指示	テレビ・ラジオ	知らなかった	その他	不明
全体	2013 100.0	721 35.8	434 21.6	155 7.7	115 5.7	33 1.6	355 17.6	111 5.5	71 3.5	18 0.9
本土で津波被害があった地区	912 100.0	296 32.5	213 23.4	101 11.1	60 6.6	18 2.0	132 14.5	51 5.6	33 3.6	8 0.9
浦戸地区	103 100.0	39 37.9	9 8.7	13 12.6	5 4.9	5 4.9	20 19.4	3 2.9	6 5.8	3 2.9
津波被害がなかった地区	994 100.0	383 38.5	212 21.3	41 4.1	50 5.0	10 1.0	202 20.3	57 5.7	32 3.2	7 0.7
不明	4 100.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問 14 避難したか

【問 14】あなたは避難されましたか。（ 印は1つだけ）

1 避難した    2 避難しなかった



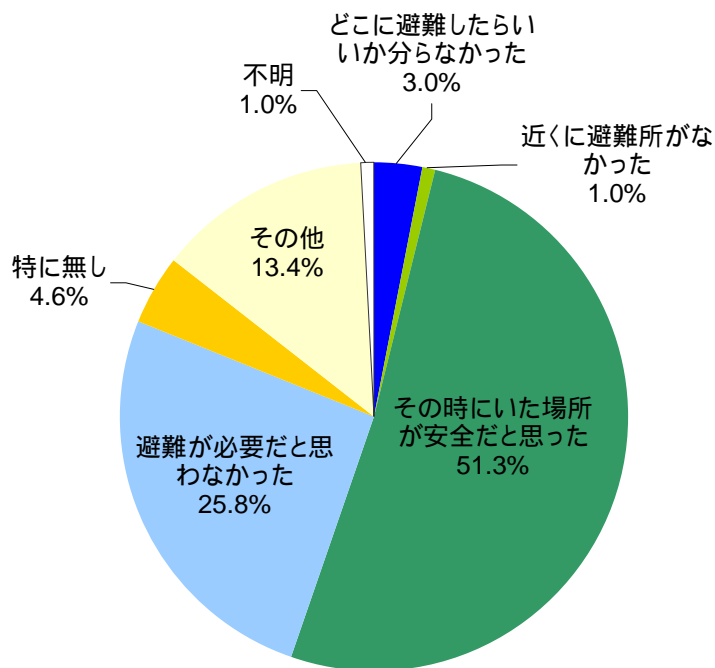
大津波警報が出た後、「避難した」とする方が約 53%となっているが、「避難しなかった」とする方も半数近くの約 47%にのぼっている。

	合計	問14 避難したか		
		避難した	避難しなかった	不明
全体	2013 100.0	1057 52.5	945 46.9	11 0.5
本土で津波被害があった地区	912 100.0	664 72.8	245 26.9	3 0.3
浦戸地区	103 100.0	94 91.3	6 5.8	3 2.9
津波被害がなかった地区	994 100.0	298 30.0	691 69.5	5 0.5
不明	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0

問 15 避難しなかった理由

【問 15】問 14 で「2 避難しなかった」とお答えいただいた方にお尋ねします。避難されなかった理由を教えてください。（ 印は1つだけ）

- 1 どこに避難したらよいかわからなかったから
- 2 近くに避難場所がなかったから
- 3 その時にいた場所が安全だと思ったから
- 4 避難が必要だとは思わなかったから
- 5 特になし
- 6 その他(具体的に)



「避難しなかった」とする回答者が避難しなかった理由については、「その時にいた場所が安全だと思った」とする方が最も多く約 51%を占めている。

一方で、「避難が必要だと思わなかった」とする方も約 26%を占めている。

	合計	問15 避難しなかった理由						
		どこに避難したらよいかわからなかった	近くに避難場所がなかった	その時にいた場所が安全だと思った	避難が必要だと思わなかった	特に無し	その他	不明
全体	945	28	9	485	244	43	127	9
	100.0	3.0	1.0	51.3	25.8	4.6	13.4	1.0
本土で津波被害があった地区	245	6	4	118	47	7	60	3
	100.0	2.4	1.6	48.2	19.2	2.9	24.5	1.2
浦戸地区	6	0	0	5	1	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
津波被害がなかった地区	691	22	5	361	195	36	67	5
	100.0	3.2	0.7	52.2	28.2	5.2	9.7	0.7
不明	3	0	0	1	1	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3

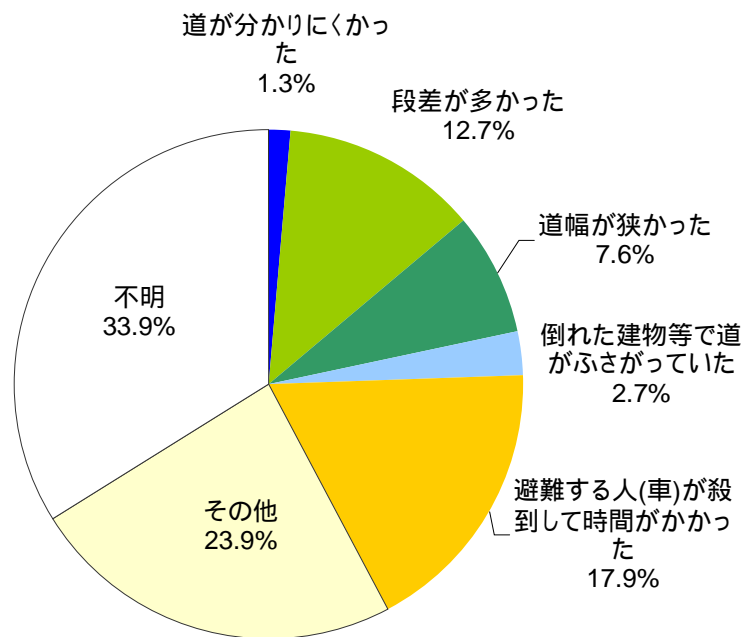




問 18 避難時に困ったこと

【問 18】問 14 で「 1 避難した」とお答えいただいた方にお尋ねします。避難する際に困ったことがありましたか。（ 印は1つだけ）

- 1 道がわかりにくかった
- 2 段差が多かった
- 3 道幅が狭かった
- 4 倒れた建物などで道がふさがっていた
- 5 避難する人（車）が殺到して避難にかなり時間がかかった
- 6 その他（具体的に



避難時に困ったことについて、最も多かった点は、「避難する人（車）が殺到して時間がかかった」する方が約 18%を占めている。

次いで、「段差が多かった」ことを挙げている方が約 13%と、回答者に高齢者が多かったことを反映した結果となっている。

	合計	問18 避難する際に困ったこと						
		道がわかりにくかった	段差が多かった	道幅が狭かった	倒れた建物等で道がふさがっていた	避難する人(車)が殺到して時間がかかった	その他	不明
全体	1057	14	134	80	29	189	253	358
	100.0	1.3	12.7	7.6	2.7	17.9	23.9	33.9
本土で津波被害があった地区	664	7	83	53	10	136	145	230
	100.0	1.1	12.5	8.0	1.5	20.5	21.8	34.6
浦戸地区	94	4	11	17	15	6	21	20
	100.0	4.3	11.7	18.1	16.0	6.4	22.3	21.3
津波被害がなかった地区	298	3	39	10	4	47	87	108
	100.0	1.0	13.1	3.4	1.3	15.8	29.2	36.2
不明	1	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

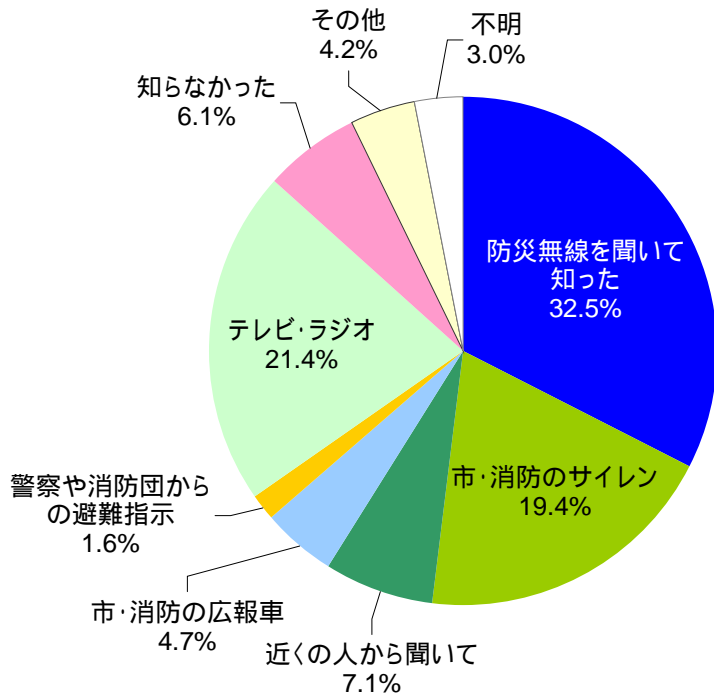




問 21 家族は大津波警報を何で知ったか

【問 21】ご家族の方は大津波警報を何で知りましたか。（ 印は1つだけ）

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1 防災無線を聞いて知った          | 2 市・消防のサイレンが鳴って知った |
| 3 近くの人から聞いて知った         | 4 市・消防の広報車で知った     |
| 5 警察や消防団からの避難指示を聞いて知った |                    |
| 6 テレビ・ラジオで知った          | 7 大津波警報を知らなかった     |
| 8 その他（具体的に             | )                  |



大津波警報を知ったのは、「防災無線を聞いて知った」とする方が約 33%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオで知った」とする方が約 21%となっており、「市・消防のサイレンが鳴って知った」とする方の約 19%を上回っている。

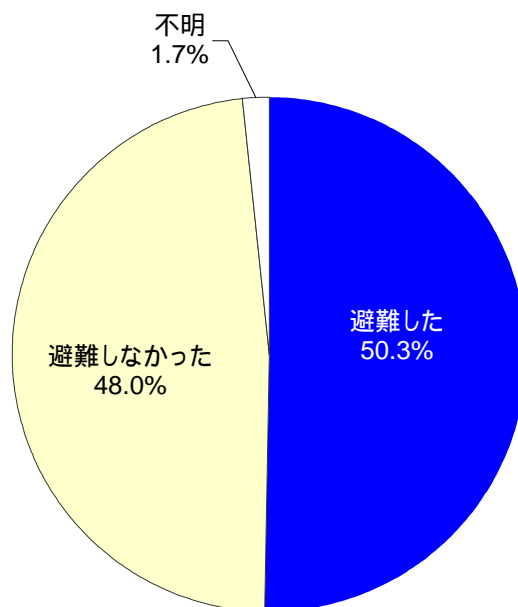
「大津波警報を知らなかった」方が約 6%おり、的確な情報伝達について検討が求められる。

	合計	問21 その方は大津波警報を何で知ったか								
		防災無線を聞いて知った	市・消防のサイレン	近くの人から聞いて	市・消防の広報車	警察や消防団からの避難指示	テレビ・ラジオ	知らなかった	その他	不明
全体	1971	641	382	139	93	32	421	121	83	59
	100.0	32.5	19.4	7.1	4.7	1.6	21.4	6.1	4.2	3.0
本土で津波被害があった地区	815	257	167	80	50	13	140	49	34	25
	100.0	31.5	20.5	9.8	6.1	1.6	17.2	6.0	4.2	3.1
浦戸地区	88	33	9	11	3	10	11	3	4	4
	100.0	37.5	10.2	12.5	3.4	11.4	12.5	3.4	4.5	4.5
津波被害がなかった地区	1064	349	206	48	40	9	268	69	45	30
	100.0	32.8	19.4	4.5	3.8	0.8	25.2	6.5	4.2	2.8
不明	4	2	0	0	0	0	2	0	0	0
	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

問 22 家族は避難したか

【問 22】ご家族の方は避難されましたか。（ 印は1つだけ）

1 避難した      2 避難しなかった



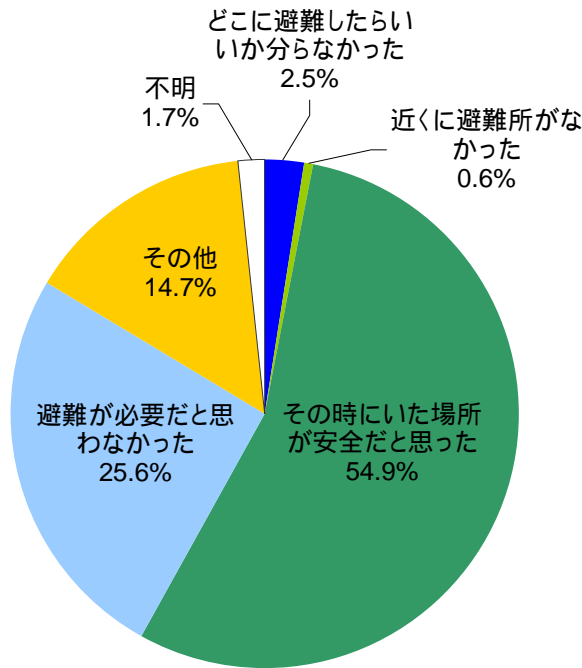
家族の方についても、世帯主本人と同様に、「避難した」とする方が過半数の約 50% を占めているが、「避難しなかった」とする方も約 48% にのぼっている。

	合計	問22 その方は避難したのか		
		避難した	避難しなかった	不明
全体	1971 100.0	992 50.3	946 48.0	33 1.7
本土で津波被害があった地区	815 100.0	588 72.1	211 25.9	16 2.0
浦戸地区	88 100.0	79 89.8	8 9.1	1 1.1
津波被害がなかった地区	1064 100.0	325 30.5	723 68.0	16 1.5
不明	4 100.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0

問 23 家族が避難しなかった理由

【問 23】問 22 でご家族の方が「2 避難しなかった」とお答えいただいた方にお尋ねします。避難しなかった理由を教えてください。( 印は1つだけ)

- 1 どこに避難したらよいかわからなかったから
- 2 近くに避難場所がなかったから
- 3 その時にいた場所が安全だと考えたから
- 4 避難が必要だとは思わなかったから
- 5 その他( 具体的に )



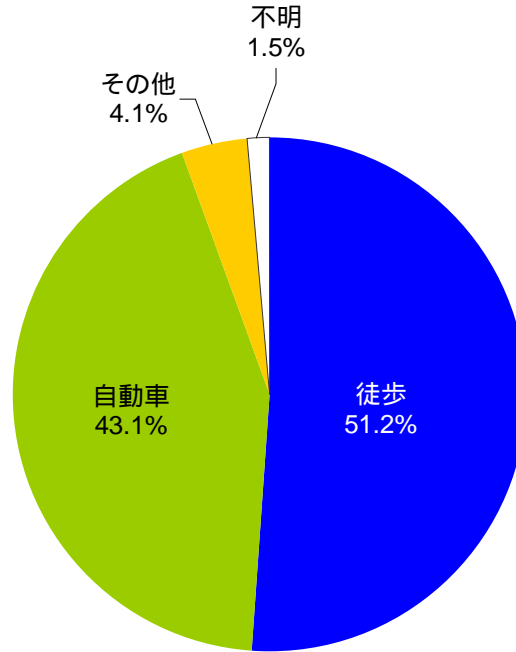
避難しなかった理由としては、「その時にいた場所が安全だと思った」とする方が過半数の約 55%と最も多く、次いで、「避難が必要だと思わなかった」とする方が約 26%となっている。

	合計	問23 その方が避難しなかった理由					
		どこに避難したらよいかわからなかった	近くに避難場所がなかった	その時にいた場所が安全だと思った	避難が必要だと思わなかった	その他	不明
全体	946	24	6	519	242	139	16
	100.0	2.5	0.6	54.9	25.6	14.7	1.7
本土で津波被害があった地区	211	6	0	115	39	48	3
	100.0	2.8	0.0	54.5	18.5	22.7	1.4
浦戸地区	8	0	0	7	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	87.5	0.0	12.5	0.0
津波被害がなかった地区	723	18	6	395	202	89	13
	100.0	2.5	0.8	54.6	27.9	12.3	1.8
不明	4	0	0	2	1	1	0
	100.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0

問 24 家族の避難時の移動手段

【問 24】問 22 でご家族の方が「 1 避難した」とお答えいただいた方にお尋ねします。ご家族の方の最初の避難の移動手段は何ですか( 印は 1 つだけ)

1 徒歩    2 自動車    3 その他(具体的に )



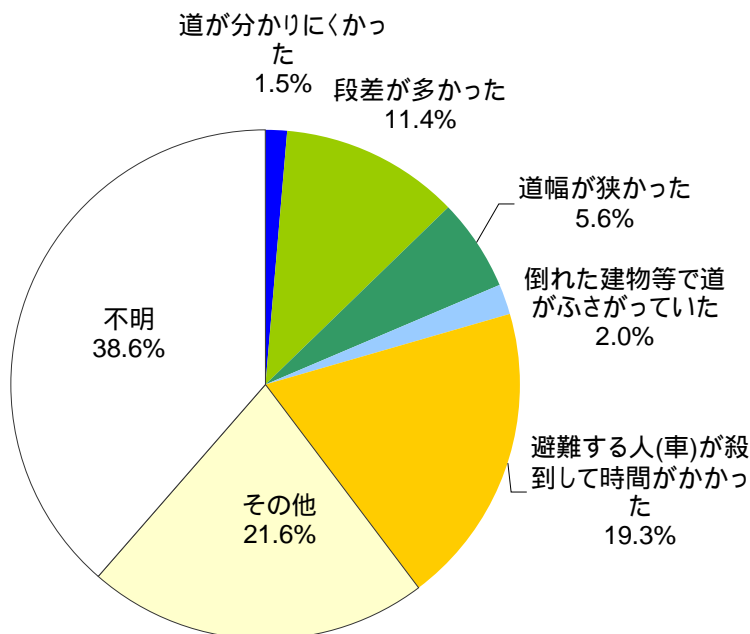
避難した方の避難手段は、「徒歩」の約 51%が、「自動車」の約 43%を上回る結果となっている。

	合計	問24 その方の避難の移動手段			
		徒歩	自動車	その他	不明
全体	992	508	428	41	15
	100.0	51.2	43.1	4.1	1.5
本土で津波被害があった地区	588	293	265	23	7
	100.0	49.8	45.1	3.9	1.2
浦戸地区	79	51	22	3	3
	100.0	64.6	27.8	3.8	3.8
津波被害がなかった地区	325	164	141	15	5
	100.0	50.5	43.4	4.6	1.5
不明	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 26 家族が避難時に困ったこと

【問 26】問 22 でご家族の方が「 1 避難した」とお答えいただいた方にお尋ねします。避難する際に困ったことがありましたか。（ 印は 1 つだけ）

- 1 道がわかりにくかった
- 2 段差が多かった
- 3 道幅が狭かった
- 4 倒れた建物などで道がふさがっていた
- 5 避難する人（車）が殺到して避難にかなり時間がかかった
- 6 その他（具体的に



避難した方が避難時に困った点は、「避難する人（車）が殺到して時間がかかった」ことを挙げた方が最も多く約 19%を占め、次いで、「段差が多かった」点を挙げた方が約 11%と続いている。

	合計	問26 その方が避難する際に困ったこと						
		道がわかりにくかった	段差が多かった	道幅が狭かった	倒れた建物等で道がふさがっていた	避難する人(車)が殺到して時間がかかった	その他	不明
全体	992	15	113	56	20	191	214	383
	100.0	1.5	11.4	5.6	2.0	19.3	21.6	38.6
本土で津波被害があった地区	588	11	68	33	9	118	114	235
	100.0	1.9	11.6	5.6	1.5	20.1	19.4	40.0
浦戸地区	79	2	10	14	8	3	14	28
	100.0	2.5	12.7	17.7	10.1	3.8	17.7	35.4
津波被害がなかった地区	325	2	35	9	3	70	86	120
	100.0	0.6	10.8	2.8	0.9	21.5	26.5	36.9
不明	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

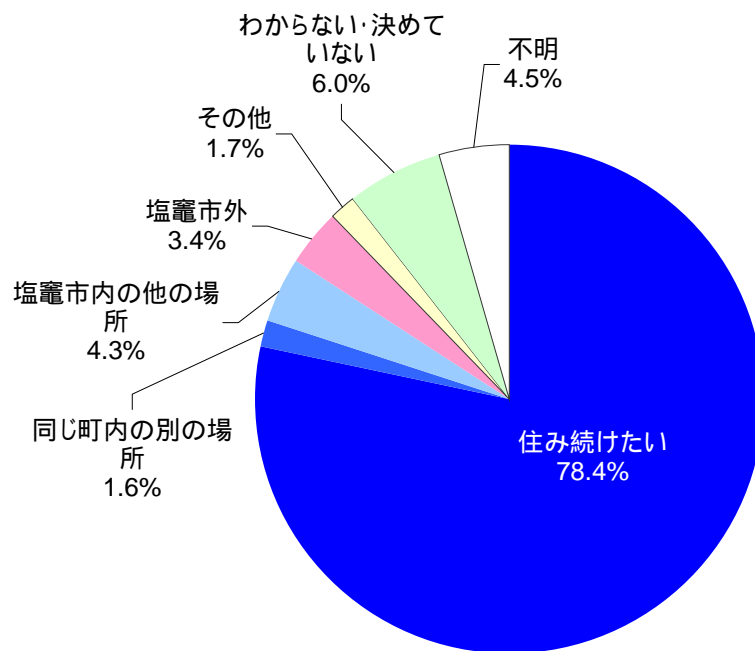


## 5. 今後の住まいについて

問 27 今後の居住意思

【問 27】 今後のお住まいの場所についてお伺いします。（ 印は1つだけ）

- 1 震災前の場所（自宅）に住み続けたい
- 2 震災前と同じ町内の別の場所に住みたい
- 3 塩竈市内の他の場所へ移転したい
- 4 塩竈市外へ移転したい
- 5 その他（具体的に
- 6 わからない・決めていない



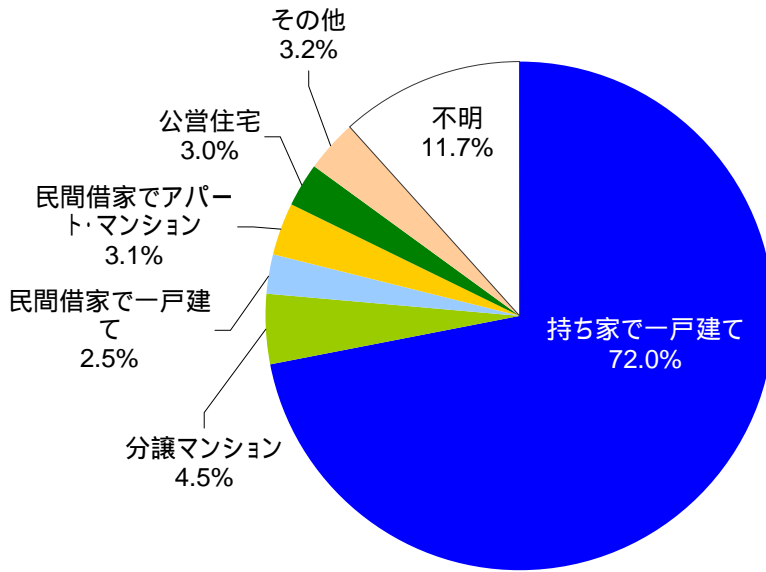
震災で被災された世帯の今後の住まいに対する考えについては、「震災前の場所（自宅）に住み続けたい」と考えている世帯が約 78%と大部分を占めており、「塩竈市外へ移転したい」と考えている世帯は約 3%にとどまっている。

	合計	問27 今後の住まいの場所						
		住み続けた い	同じ町内の 別の場所	塩竈市内 の他の場所	塩竈市外	その他	わから ない・決 めてい ない	不明
全体	2782 100.0	2181 78.4	44 1.6	120 4.3	95 3.4	48 1.7	168 6.0	126 4.5
本土で津波被害 があった地区	1202 100.0	886 73.7	22 1.8	69 5.7	57 4.7	24 2.0	92 7.7	52 4.3
浦戸地区	119 100.0	79 66.4	4 3.4	10 8.4	3 2.5	5 4.2	11 9.2	7 5.9
津波被害がなかつ た地区	1454 100.0	1211 83.3	18 1.2	41 2.8	34 2.3	19 1.3	65 4.5	66 4.5
不明	7 100.0	5 71.4	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3

問 28 今後の希望する住居形態

【問 28】 今後のお住まいの希望についてお伺いします。（ 印は1つだけ）

- 1 持ち家で一戸建て
- 2 分譲マンション
- 3 民間借家で一戸建て
- 4 民間借家でアパート・賃貸マンション
- 5 公営住宅
- 6 その他（具体的に



今後の住まいの希望については、「持ち家で一戸建て」を希望する方が圧倒的に多く、回答者全体の約72%を占めている。

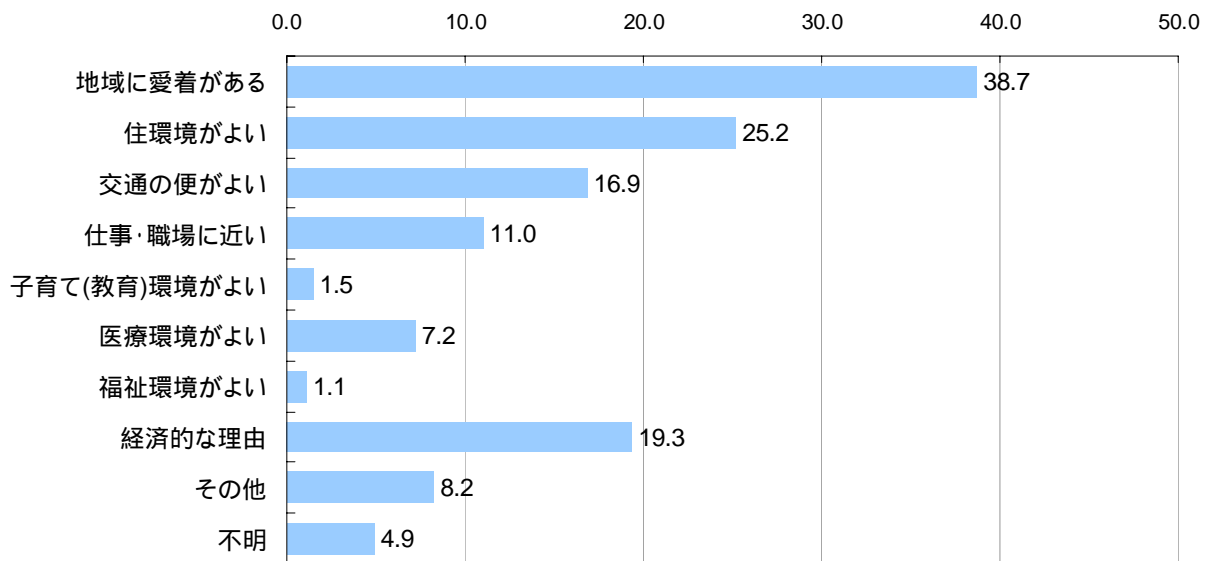
公営住宅を希望している世帯は、約3%となっている。

	合計	問28 今後の住まいの希望						
		持ち家で一戸建て	分譲マンション	民間借家で一戸建て	民間借家でアパート・マンション	公営住宅	その他	不明
全体	2782	2004	124	69	87	84	89	325
	100.0	72.0	4.5	2.5	3.1	3.0	3.2	11.7
本土で津波被害があった地区	1202	798	92	40	57	34	43	138
	100.0	66.4	7.7	3.3	4.7	2.8	3.6	11.5
浦戸地区	119	80	3	3	0	8	7	18
	100.0	67.2	2.5	2.5	0.0	6.7	5.9	15.1
津波被害がなかった地区	1454	1121	28	26	30	42	39	168
	100.0	77.1	1.9	1.8	2.1	2.9	2.7	11.6
不明	7	5	1	0	0	0	0	1
	100.0	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3

問 31 住み続ける理由

【問 31】問 27 で「 1 震災前の場所に住み続けるつもり」とお答えいただいた方にお尋ねします。住み続けるとお答えになった理由を教えてください。

- |                  |              |
|------------------|--------------|
| 1 地域に愛着があるから     | 2 住環境がよいから   |
| 3 交通の便がよいから      | 4 仕事・職場に近いから |
| 5 子育て（教育）環境がよいから | 6 医療環境がよいから  |
| 7 福祉環境がよいから      | 8 経済的な理由から   |
| 9 その他（           | ）            |



今後も震災前の場所に住み続けたいと回答した方の理由については、他の理由以上に「地域に愛着がある」とする方が最も多く約 40%が回答している。

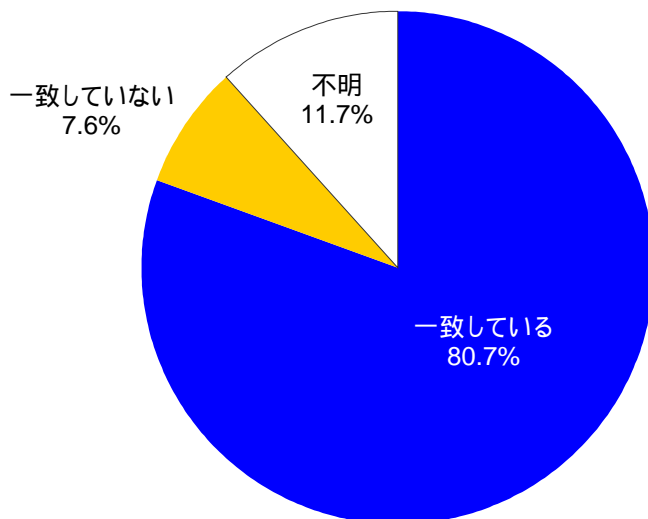
他の理由としては、「住環境がよいから」とする方が約 25%、「経済的な理由から」とする方が約 19%、「交通の便がよいから」とする方が約 17%と続いている。

	合計	問31 住み続ける理由									
		地域に愛着がある	住環境がよい	交通の便がよい	仕事・職場に近い	子育て(教育)環境がよい	医療環境がよい	福祉環境がよい	経済的な理由	その他	不明
全体	2181	845	550	368	240	33	157	25	422	179	107
	100.0	38.7	25.2	16.9	11.0	1.5	7.2	1.1	19.3	8.2	4.9
本土で津波被害があった地区	886	383	168	201	122	12	59	10	177	68	36
	100.0	43.2	19.0	22.7	13.8	1.4	6.7	1.1	20.0	7.7	4.1
浦戸地区	79	51	11	0	11	0	0	0	13	3	6
	100.0	64.6	13.9	0.0	13.9	0.0	0.0	0.0	16.5	3.8	7.6
津波被害がなかった地区	1211	411	371	165	106	21	97	15	232	105	65
	100.0	33.9	30.6	13.6	8.8	1.7	8.0	1.2	19.2	8.7	5.4
不明	5	0	0	2	1	0	1	0	0	3	0
	100.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0

問 32 今後についての家族の意思統一の有無

【問 32】 今後のお住まいについて、ご家族の考えは一致していますか。

- 1 一致している
- 2 一致していない



今後の住まいについては、大部分の回答者の方が、家族の考えが「一致している」とされ、回答者全体の約 81% を占めている。

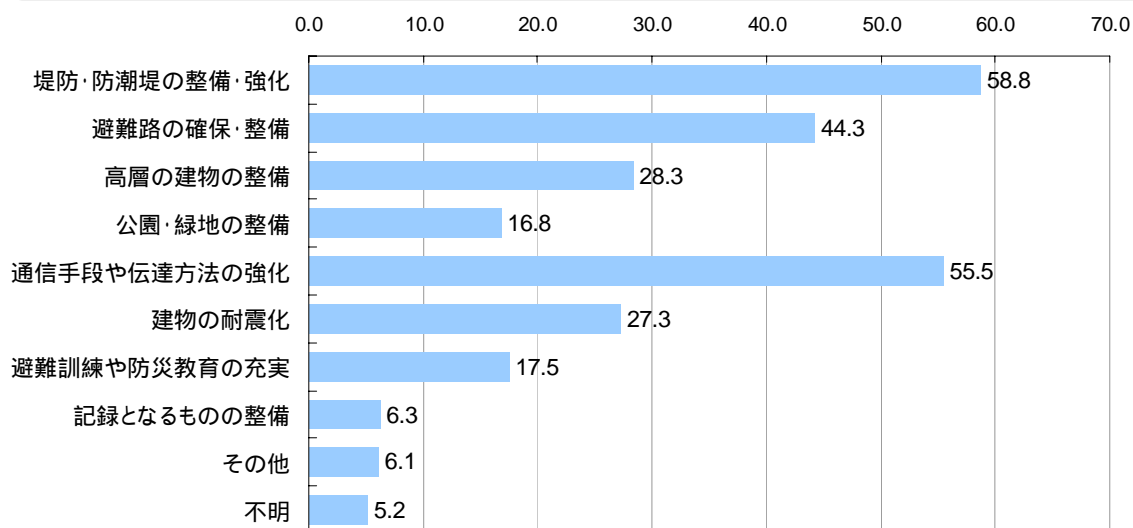
逆に、「一致していない」とした回答者は、約 8% にとどまっている。

	合計	問32 家族と考えが一致しているのか		
		一致している	一致していない	不明
全体	2782 100.0	2244 80.7	212 7.6	326 11.7
本土で津波被害があった地区	1202 100.0	930 77.4	120 10.0	152 12.6
浦戸地区	119 100.0	76 63.9	17 14.3	26 21.8
津波被害がなかった地区	1454 100.0	1232 84.7	75 5.2	147 10.1
不明	7 100.0	6 85.7	0 0.0	1 14.3

問 33 今後必要な防災対策（複数回答）

【問 33】今後、塩竈市を災害に強いまちとするため、どのような防災対策が重要だとお考えですか。特に必要なもの3つに 印をつけてください。

- 1 浸水を防ぐ堤防・防潮堤の整備・強化
- 2 非常時に迅速に避難できる避難路の確保・整備
- 3 津波から避難できる高さがある高層の建物の整備
- 4 防災拠点になる公園・緑地の整備
- 5 震災情報や避難情報の通信手段や伝達方法の強化
- 6 建物の耐震化
- 7 避難訓練や防災教育の充実
- 8 震災の伝承やモニメントの設置など記録となるものの整備
- 9 その他（具体的に



今後必要な防災対策については、3つの点が特に重要だと回答が挙げられている。最も多い回答は「浸水を防ぐ堤防・防潮堤の整備・強化」で約 59%、「震災情報や避難情報の通信手段や伝達方法の強化」が約 56%、「非常時に迅速に避難できる避難路の確保・整備」が約 44%となっている。

「建物の耐震化」約 27%と「津波から避難できる高さがある高層の建物の整備」約 28%についても、比較的多くの回答がある。

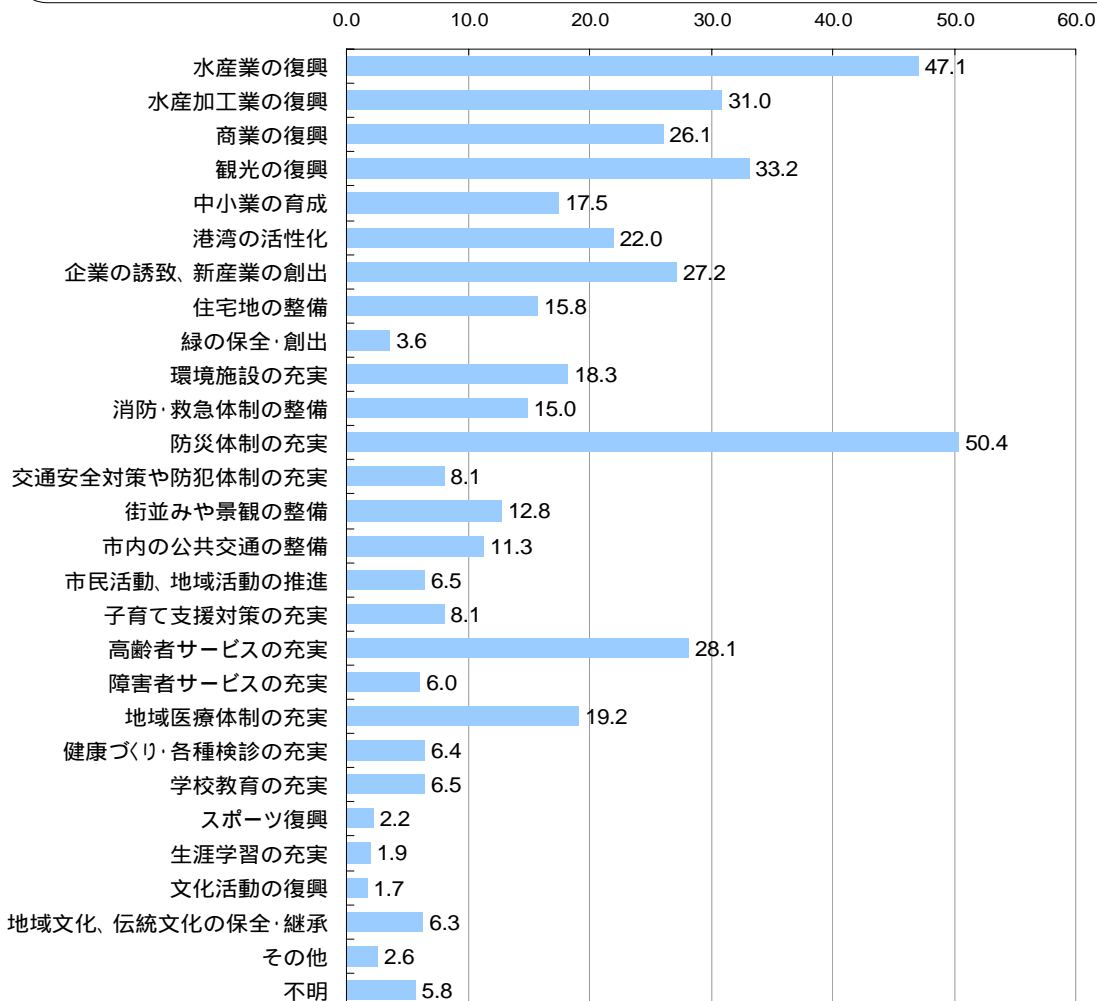
	合計	問33 どのような防災対策が重要か									
		堤防・防潮堤の整備・強化	避難路の確保・整備	高層の建物の整備	公園・緑地の整備	通信手段や伝達方法の強化	建物の耐震化	避難訓練や防災教育の充実	記録となるものの整備	その他	不明
全体	2782 100.0	1636 58.8	1232 44.3	787 28.3	468 16.8	1544 55.5	760 27.3	487 17.5	174 6.3	169 6.1	145 5.2
本土で津波被害があった地区	1202 100.0	764 63.6	514 42.8	328 27.3	179 14.9	670 55.7	259 21.5	207 17.2	74 6.2	85 7.1	71 5.9
浦戸地区	119 100.0	91 76.5	38 31.9	46 38.7	9 7.6	57 47.9	25 21.0	17 14.3	5 4.2	2 1.7	12 10.1
津波被害がなかった地区	1454 100.0	780 53.6	677 46.6	410 28.2	280 19.3	813 55.9	474 32.6	261 18.0	95 6.5	81 5.6	61 4.2
不明	7 100.0	1 14.3	3 42.9	3 42.9	0 0.0	4 57.1	2 28.6	2 28.6	0 0.0	1 14.3	1 14.3

## 6. 今後の市の復興に向けた取り組みについて

### 問 34 復興に向けて必要な取り組み

【問 34】今後の塩竈市の復興に向けて、塩竈市を住み続けられるまちとするため、どのような取り組みが重要だとお考えですか。主なもの5つ以内に 印をつけてください。

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| 1 水産業の振興          | 2 水産加工業の振興             |
| 3 商業の振興           | 4 観光の振興                |
| 5 中小企業の育成         | 6 港湾の活性化               |
| 7 企業の誘致、新産業の創出    | 8 住宅地の整備               |
| 9 緑の保全・創出         | 10 自然エネルギーの導入など環境施策の充実 |
| 11 消防・救急体制の整備     | 12 地震や水害に対する防災体制の充実    |
| 13 交通安全対策や防犯体制の充実 | 14 街並みや景観の整備           |
| 15 市内の公共交通（バス）の整備 | 16 市民活動、地域活動の推進        |
| 7 子育て支援対策の充実      | 18 高齢者サービスの充実          |
| 19 障害者サービスの充実     | 20 地域医療体制の充実           |
| 21 健康づくり・各種検診の充実  | 22 学校教育の充実             |
| 23 スポーツ振興         | 24 生涯学習の充実             |
| 25 文化活動の振興        | 26 地域文化、伝統文化の保全・継承     |
| 27 その他（具体的に       | )                      |



今後の塩竈市の復興に向けて必要な取り組みとしては、「防災体制の充実」が約 50%、「水産業の復興」が約 47%と、多くの回答者がこれらの取り組みが必要だと挙げている。

「観光の振興」約 33%、「水産加工業の振興」約 31%、「企業の誘致、新産業の創出」約 27%など、産業に関する施策について、比較的多くの方が必要な取り組みとして挙げている。

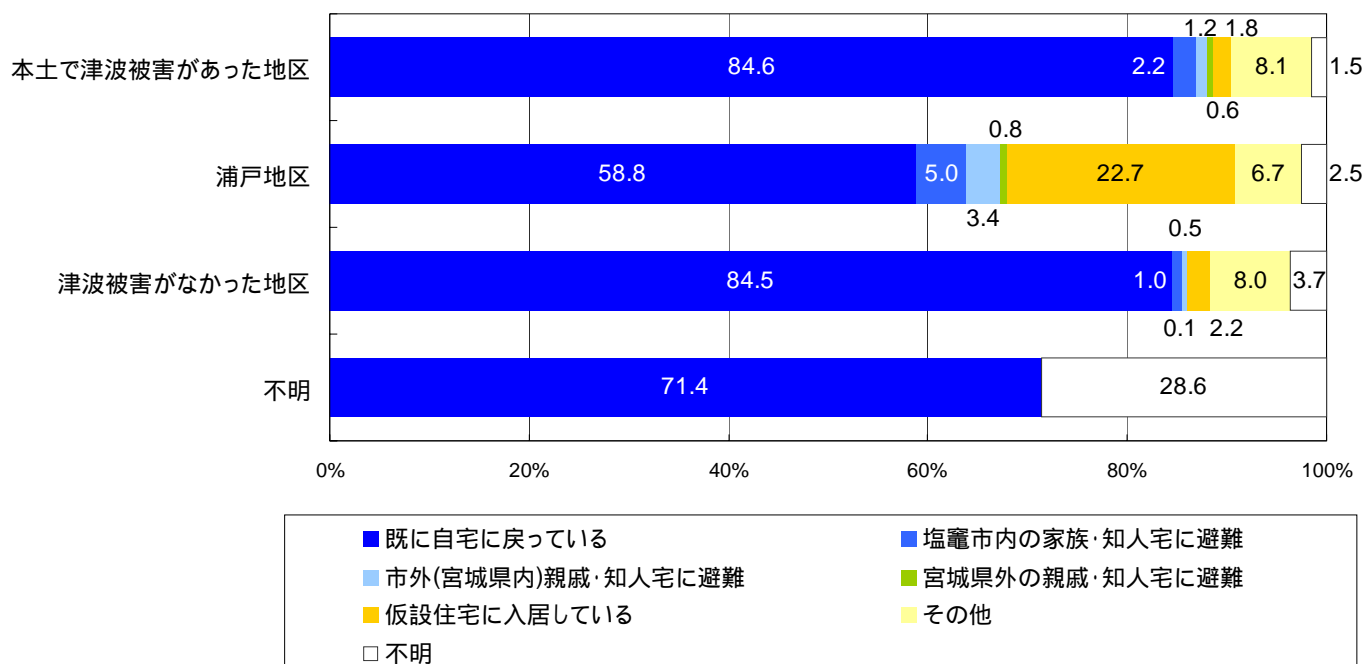
	合計	問34 どのような取り組みが重要か								
		水産業の復興	水産加工業の復興	商業の復興	観光の復興	中小業の育成	港湾の活性化	企業の誘致、新産業の創出	住宅地の整備	緑の保全・創出
全体	2782 100.0	1309 47.1	862 31.0	727 26.1	923 33.2	487 17.5	613 22.0	757 27.2	440 15.8	101 3.6
本土で津波被害があった地区	1202 100.0	555 46.2	381 31.7	352 29.3	403 33.5	235 19.6	253 21.0	304 25.3	199 16.6	48 4.0
浦戸地区	119 100.0	67 56.3	24 20.2	13 10.9	26 21.8	11 9.2	29 24.4	24 20.2	28 23.5	3 2.5
津波被害がなかった地区	1454 100.0	687 47.2	456 31.4	361 24.8	491 33.8	241 16.6	330 22.7	427 29.4	212 14.6	50 3.4
不明	7 100.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	3 42.9	0 0.0	1 14.3	2 28.6	1 14.3	0 0.0

	合計	問34 どのような取り組みが重要か									
		環境施設	消防・救急	防災体制	交通安全	街並みや	市内の公	市民活動、	子育て支援	高齢者	
全体	2782 100.0	509 18.3	416 15.0	1402 50.4	226 8.1	355 12.8	314 11.3	180 6.5	224 8.1	783 28.1	
本土で津波被害があった地区	1202 100.0	189 15.7	152 12.6	660 54.9	86 7.2	171 14.2	110 9.2	85 7.1	78 6.5	305 25.4	
浦戸地区	119 100.0	13 10.9	30 25.2	64 53.8	7 5.9	9 7.6	13 10.9	4 3.4	6 5.0	45 37.8	
津波被害がなかった地区	1454 100.0	306 21.0	233 16.0	676 46.5	131 9.0	175 12.0	190 13.1	91 6.3	139 9.6	432 29.7	
不明	7 100.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	2 28.6	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	1 14.3	

	合計	問34 どのような取り組みが重要か									
		障害者サービスの充実	地域医療体制の充実	健康づくり・各種検診の充実	学校教育の充実	スポーツ復興	生涯学習の充実	文化活動の復興	地域文化・伝統文化の保全・継	その他	不明
全体	2782 100.0	168 6.0	533 19.2	178 6.4	180 6.5	61 2.2	54 1.9	48 1.7	176 6.3	71 2.6	160 5.8
本土で津波被害があった地区	1202 100.0	63 5.2	217 18.1	61 5.1	66 5.5	24 2.0	17 1.4	24 2.0	90 7.5	31 2.6	78 6.5
浦戸地区	119 100.0	9 7.6	36 30.3	8 6.7	4 3.4	2 1.7	2 0.8	1 0.8	3 2.5	2 1.7	16 13.4
津波被害がなかった地区	1454 100.0	95 6.5	279 19.2	108 7.4	110 7.6	35 2.4	35 2.4	23 1.6	83 5.7	37 2.5	65 4.5
不明	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3

## 7. 地区別集計

### 問9 【地区別】現在の住まいの状況



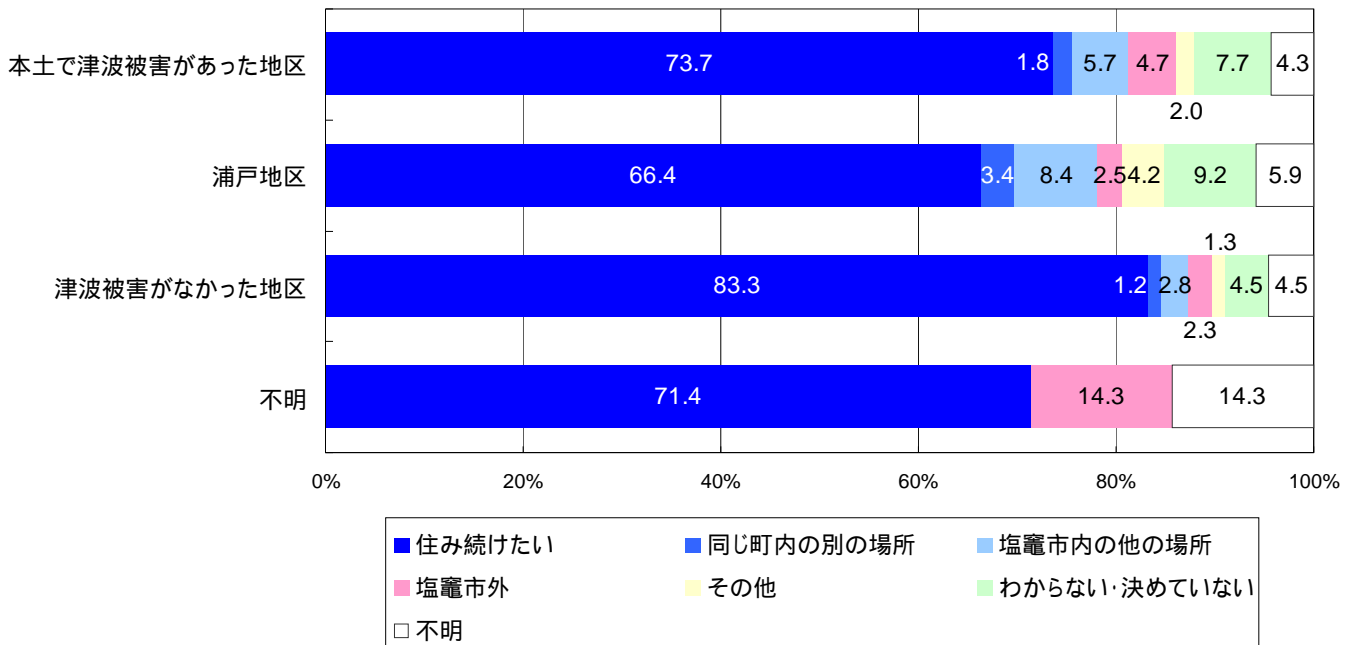
現在の住まいについては、既に自宅に戻っている方が大部分となっており、本土で津波被害があった地区の方で約83%を、浦戸地区では約59%を占めている。

自宅には戻っていない方は、本土地区では比較的少数になっているが、浦戸地区では、仮設住宅に入居している方が約23%となっている。

	合計	問9 現在の住まい						
		既に自宅に戻っている	塩竈市内の家族・知人宅に避難	市外(宮城県内)親戚・知人宅に避難	宮城県外の親戚・知人宅に避難	仮設住宅に入居している	その他	不明
全体	2782	2320	48	25	9	81	222	77
	100.0	83.4	1.7	0.9	0.3	2.9	8.0	2.8
本土で津波被害があった地区	1202	1017	27	14	7	22	97	18
	100.0	84.6	2.2	1.2	0.6	1.8	8.1	1.5
浦戸地区	119	70	6	4	1	27	8	3
	100.0	58.8	5.0	3.4	0.8	22.7	6.7	2.5
津波被害がなかった地区	1454	1228	15	7	1	32	117	54
	100.0	84.5	1.0	0.5	0.1	2.2	8.0	3.7
不明	7	5	0	0	0	0	0	2
	100.0	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6



問 27 【地区別】今後の居留意志

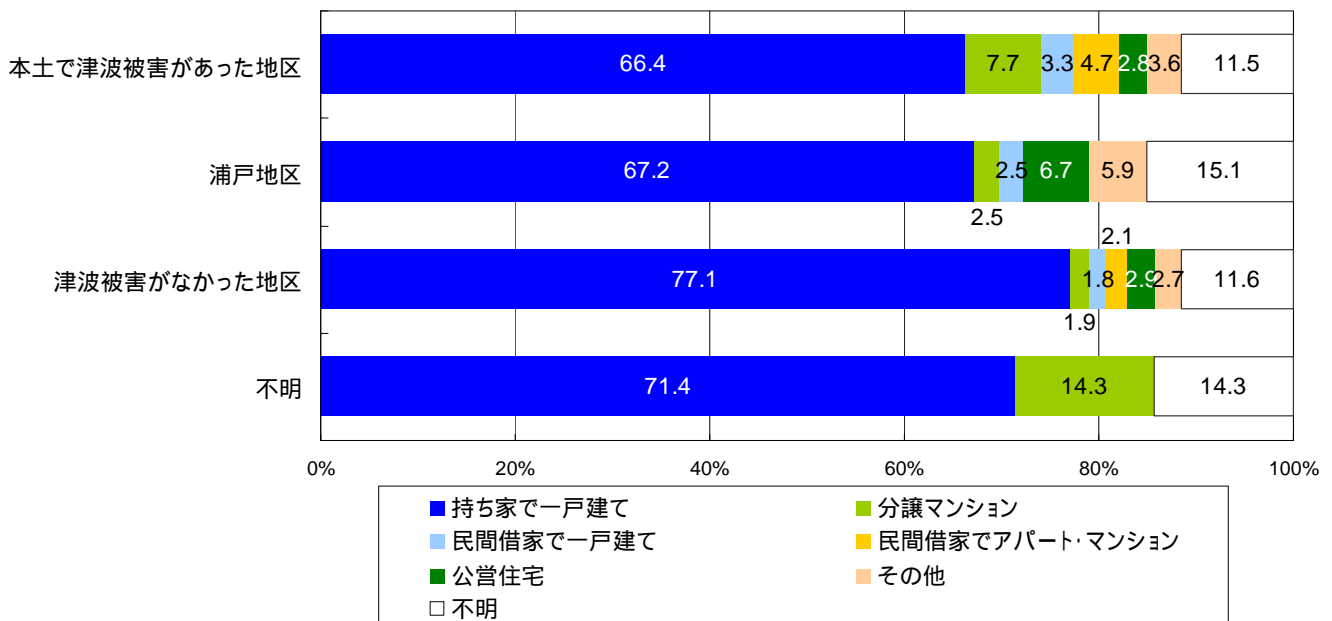


今後の住まいに対する考えについては、「震災前の場所（自宅）に住み続けたい」と考えている世帯が、本土で津波被害があった地区では約 74%、浦戸地区では約 66%を占めている。

一方、「塩竈市内の他の場所へ移転したい」と考えている世帯は、本土で津波被害があった地区では約 6%にとどまっているが、浦戸地区では約 8%となっている。

	合計	問27 今後の住まいの場所						
		住み続けたい	同じ町内の別の場所	塩竈市内の他の場所	塩竈市外	その他	わからない・決めていない	不明
全体	2782	2181	44	120	95	48	168	126
	100.0	78.4	1.6	4.3	3.4	1.7	6.0	4.5
本土で津波被害があった地区	1202	886	22	69	57	24	92	52
	100.0	73.7	1.8	5.7	4.7	2.0	7.7	4.3
浦戸地区	119	79	4	10	3	5	11	7
	100.0	66.4	3.4	8.4	2.5	4.2	9.2	5.9
津波被害がなかった地区	1454	1211	18	41	34	19	65	66
	100.0	83.3	1.2	2.8	2.3	1.3	4.5	4.5
不明	7	5	0	0	1	0	0	1
	100.0	71.4	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3

問 28 【地区別】今後の希望する居住形態

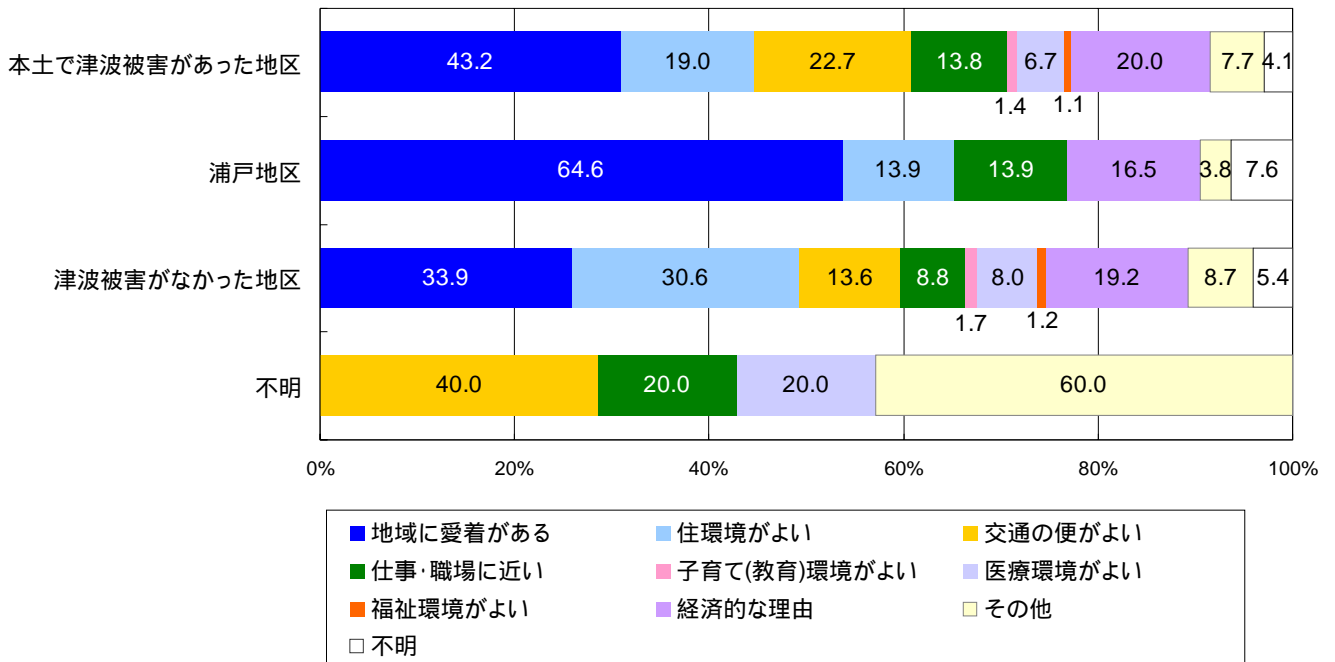


今後の住まいの希望については、本土で津波被害があった地区、浦戸地区ともに、「持ち家で一戸建て」を希望する方が圧倒的に多く、各々回答者全体の約 66%を占めている。

公営住宅を希望している世帯は、本土で津波被害があった地区で約 3%、浦戸地区で約 7%となっている。

	合計	問28 今後の住まいの希望						
		持ち家で一戸建て	分譲マンション	民間借家で一戸建て	民間借家でアパート・マンション	公営住宅	その他	不明
全体	2782	2004	124	69	87	84	89	325
	100.0	72.0	4.5	2.5	3.1	3.0	3.2	11.7
本土で津波被害があった地区	1202	798	92	40	57	34	43	138
	100.0	66.4	7.7	3.3	4.7	2.8	3.6	11.5
浦戸地区	119	80	3	3	0	8	7	18
	100.0	67.2	2.5	2.5	0.0	6.7	5.9	15.1
津波被害がなかった地区	1454	1121	28	26	30	42	39	168
	100.0	77.1	1.9	1.8	2.1	2.9	2.7	11.6
不明	7	5	1	0	0	0	0	1
	100.0	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3

問 31 【地区別】住み続ける理由

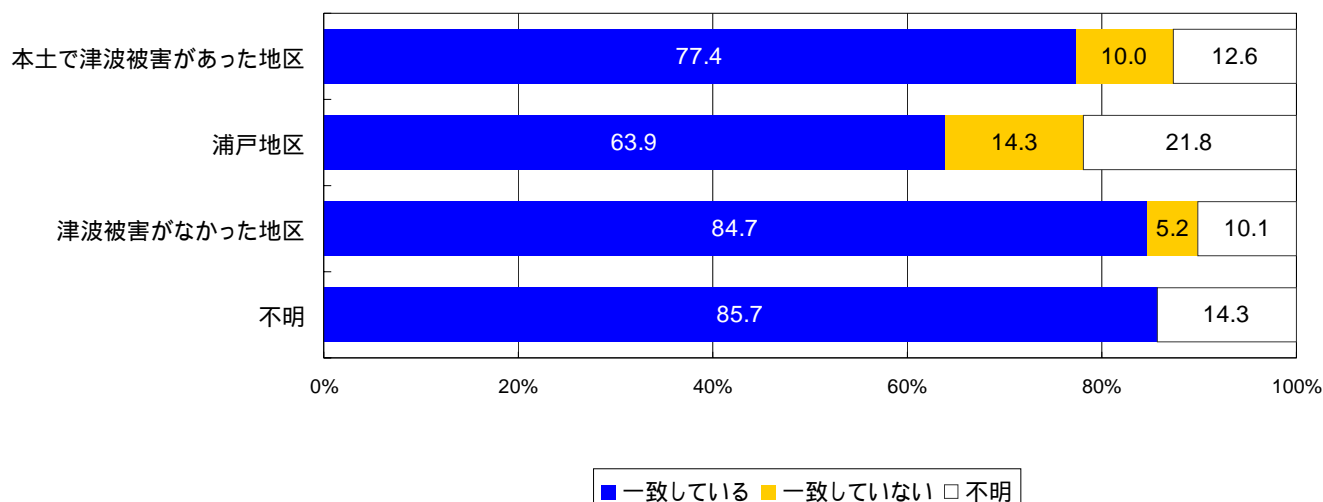


今後も震災前の場所に住み続けたいと回答した方の理由については、「地域に愛着がある」とする方が最も多く、本土で津波被害があった地区で約43%、浦戸地区で約65%を占めている。

津波被害がなかった地区では、「地域に愛着がある」とする方が約34%と最も多いが、「住環境がよいから」とする方が他の地区に比べて多く約31%を占めている。

	合計	問31 住み続ける理由									
		地域に愛着がある	住環境がよい	交通の便がよい	仕事・職場に近い	子育て(教育)環境がよい	医療環境がよい	福祉環境がよい	経済的な理由	その他	不明
全体	2181	845	550	368	240	33	157	25	422	179	107
	100.0	38.7	25.2	16.9	11.0	1.5	7.2	1.1	19.3	8.2	4.9
本土で津波被害があった地区	886	383	168	201	122	12	59	10	177	68	36
	100.0	43.2	19.0	22.7	13.8	1.4	6.7	1.1	20.0	7.7	4.1
浦戸地区	79	51	11	0	11	0	0	0	13	3	6
	100.0	64.6	13.9	0.0	13.9	0.0	0.0	0.0	16.5	3.8	7.6
津波被害がなかった地区	1211	411	371	165	106	21	97	15	232	105	65
	100.0	33.9	30.6	13.6	8.8	1.7	8.0	1.2	19.2	8.7	5.4
不明	5	0	0	2	1	0	1	0	0	3	0
	100.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0

問 32 【地区別】今後についての家族の意思統一の有無

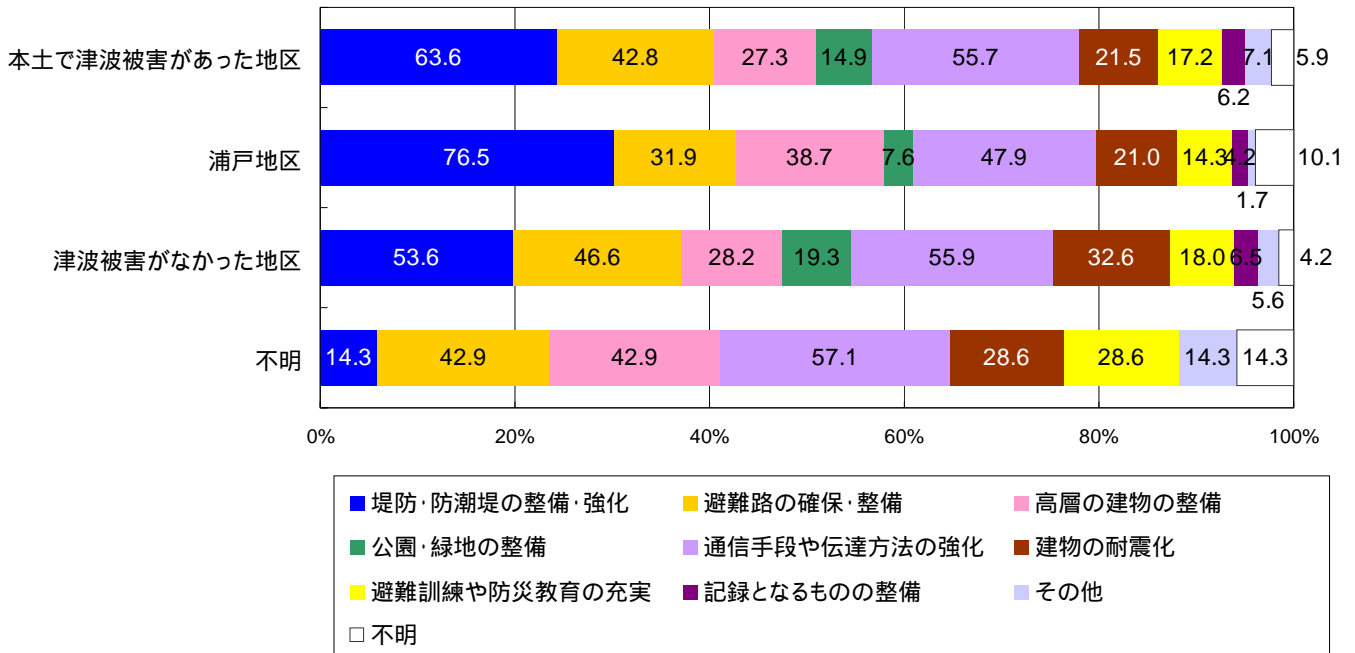


今後の住まいについては、いずれの地区も大部分の回答者の方が、家族の考えが「一致している」としているが、浦戸地区では、他の地区に比べ、やや少なく約 64%となっている。

浦戸地区では、「一致していない」とした回答者が約 14%と、本土で津波被害があった地区などに比べ多くなっている。

	合計	問32 家族と考えが一致しているのか		
		一致している	一致していない	不明
全体	2782	2244	212	326
	100.0	80.7	7.6	11.7
本土で津波被害があった地区	1202	930	120	152
	100.0	77.4	10.0	12.6
浦戸地区	119	76	17	26
	100.0	63.9	14.3	21.8
津波被害がなかった地区	1454	1232	75	147
	100.0	84.7	5.2	10.1
不明	7	6	0	1
	100.0	85.7	0.0	14.3

問 33 【地区別】今後必要な防災対策



今後必要な防災対策については、本土で津波被害があった地区では、「浸水を防ぐ堤防・防潮堤の整備・強化」が最も多く約 64%を占め、次いで、「震災情報や避難情報の通信手段や伝達方法の強化」が約 56%と続いている。

浦戸地区でも、「浸水を防ぐ堤防・防潮堤の整備・強化」が最も多く約 77%を占め、次いで、「震災情報や避難情報の通信手段や伝達方法の強化」が約 78%と続いている。

津波被害がなかった地区では、「震災情報や避難情報の通信手段や伝達方法の強化」が約 56%と「浸水を防ぐ堤防・防潮堤の整備・強化」の約 54%を上回っている。

	合計	問33 どのような防災対策が重要か									
		堤防・防潮堤の整備・強化	避難路の確保・整備	高層の建物の整備	公園・緑地の整備	通信手段や伝達方法の強化	建物の耐震化	避難訓練や防災教育の充実	記録となるものの整備	その他	不明
全体	2782	1636	1232	787	468	1544	760	487	174	169	145
	100.0	58.8	44.3	28.3	16.8	55.5	27.3	17.5	6.3	6.1	5.2
本土で津波被害があった地区	1202	764	514	328	179	670	259	207	74	85	71
	100.0	63.6	42.8	27.3	14.9	55.7	21.5	17.2	6.2	7.1	5.9
浦戸地区	119	91	38	46	9	57	25	17	5	2	12
	100.0	76.5	31.9	38.7	7.6	47.9	21.0	14.3	4.2	1.7	10.1
津波被害がなかった地区	1454	780	677	410	280	813	474	261	95	81	61
	100.0	53.6	46.6	28.2	19.3	55.9	32.6	18.0	6.5	5.6	4.2
不明	7	1	3	3	0	4	2	2	0	1	1
	100.0	14.3	42.9	42.9	0.0	57.1	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3



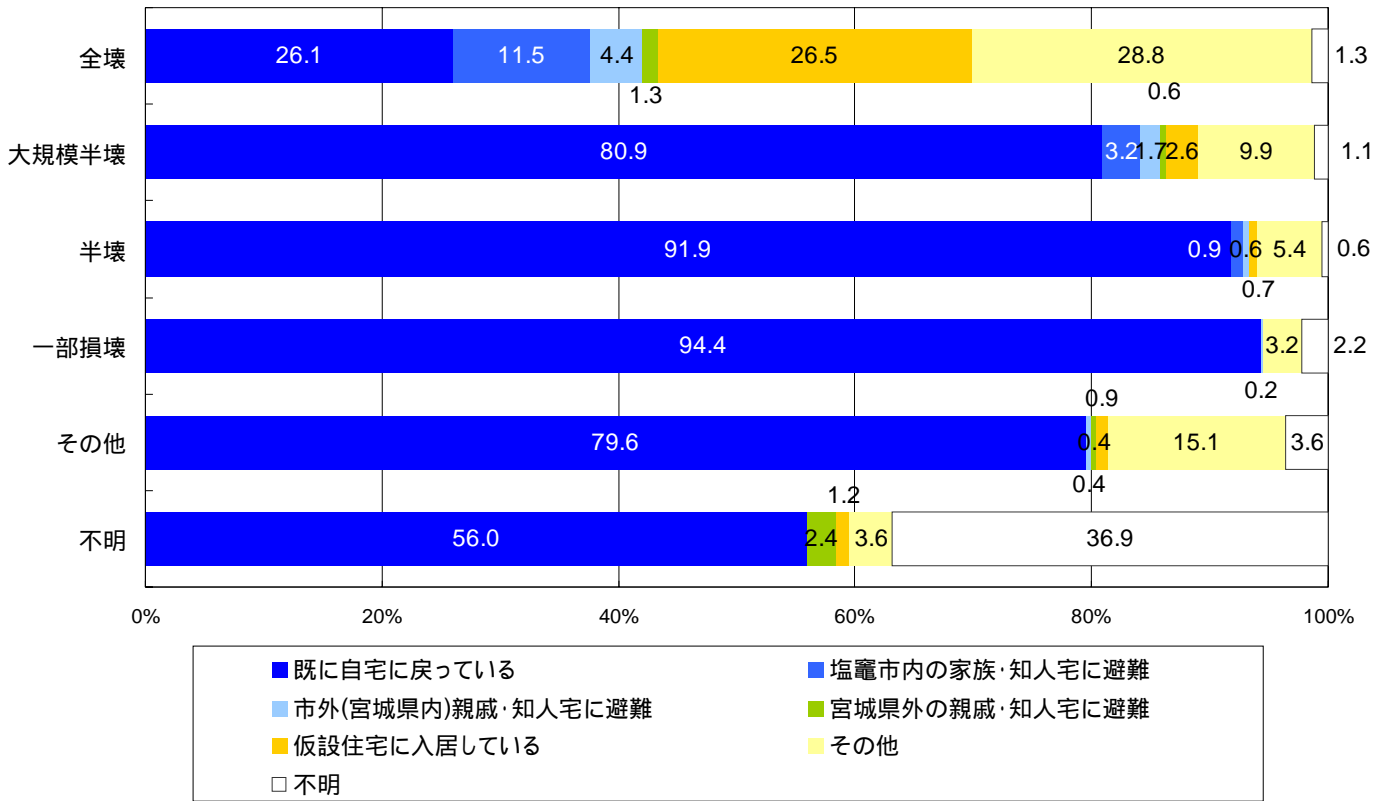
	合計	問34 どのような取り組みが重要か								
		水産業の復興	水産加工業の復興	商業の復興	観光の復興	中小業の育成	港湾の活性化	企業の誘致、新産業の創出	住宅地の整備	緑の保全・創出
全体	2782 100.0	1309 47.1	862 31.0	727 26.1	923 33.2	487 17.5	613 22.0	757 27.2	440 15.8	101 3.6
本土で津波被害があった地区	1202 100.0	555 46.2	381 31.7	352 29.3	403 33.5	235 19.6	253 21.0	304 25.3	199 16.6	48 4.0
浦戸地区	119 100.0	67 56.3	24 20.2	13 10.9	26 21.8	11 9.2	29 24.4	24 20.2	28 23.5	3 2.5
津波被害がなかった地区	1454 100.0	687 47.2	456 31.4	361 24.8	491 33.8	241 16.6	330 22.7	427 29.4	212 14.6	50 3.4
不明	7 100.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	3 42.9	0 0.0	1 14.3	2 28.6	1 14.3	0 0.0

	合計	問34 どのような取り組みが重要か								
		環境施設	消防・救急	防災体制	交通安全	街並みや	市内の公	市民活動	子育て支援	高齢者
全体	2782 100.0	509 18.3	416 15.0	1402 50.4	226 8.1	355 12.8	314 11.3	180 6.5	224 8.1	783 28.1
本土で津波被害があった地区	1202 100.0	189 15.7	152 12.6	660 54.9	86 7.2	171 14.2	110 9.2	85 7.1	78 6.5	305 25.4
浦戸地区	119 100.0	13 10.9	30 25.2	64 53.8	7 5.9	9 7.6	13 10.9	4 3.4	6 5.0	45 37.8
津波被害がなかった地区	1454 100.0	306 21.0	233 16.0	676 46.5	131 9.0	175 12.0	190 13.1	91 6.3	139 9.6	432 29.7
不明	7 100.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	2 28.6	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	1 14.3

	合計	問34 どのような取り組みが重要か									
		障害者サービスの充実	地域医療体制の充実	健康づくり・各種検診の充実	学校教育の充実	スポーツ復興	生涯学習の充実	文化活動の復興	地域文化、伝統文化の保全・継	その他	不明
全体	2782 100.0	168 6.0	533 19.2	178 6.4	180 6.5	61 2.2	54 1.9	48 1.7	176 6.3	71 2.6	160 5.8
本土で津波被害があった地区	1202 100.0	63 5.2	217 18.1	61 5.1	66 5.5	24 2.0	17 1.4	24 2.0	90 7.5	31 2.6	78 6.5
浦戸地区	119 100.0	9 7.6	36 30.3	8 6.7	4 3.4	2 1.7	2 0.8	1 0.8	3 2.5	2 1.7	16 13.4
津波被害がなかった地区	1454 100.0	95 6.5	279 19.2	108 7.4	110 7.6	35 2.4	35 2.4	23 1.6	83 5.7	37 2.5	65 4.5
不明	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3

## 8. 被害状況別集計

問9 【被害状況別】現在の住まいの状況



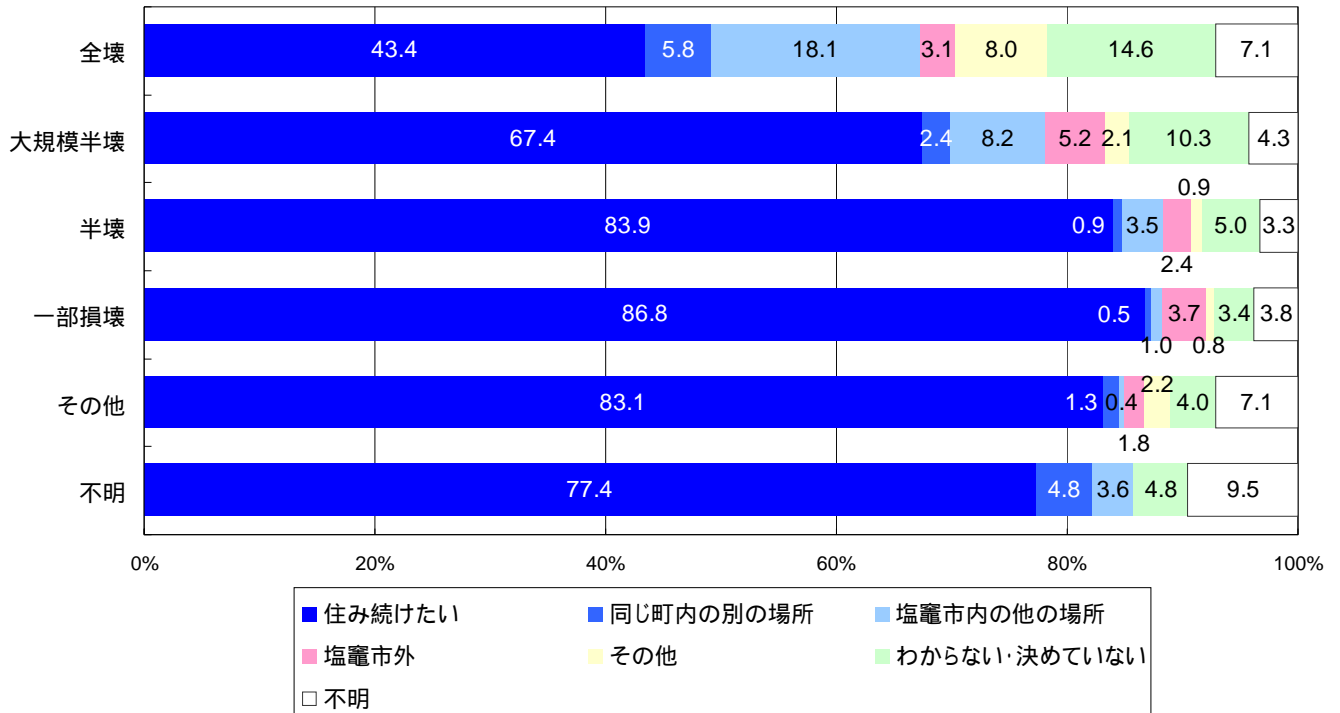
全壊の方と他の被害状況の方で現在の住まいの状況が大きく異なり、大規模半壊や半壊、一部損壊の被害状況の方については、既に自宅に戻っている方が大部分となっている。

一方、全壊の方は、仮設住宅に入居している方が約27%、塩竈市内の家族・知人宅に避難している方が約12%となっている。

	合計	問9 現在の住まい						
		既に自宅に戻っている	塩竈市内の家族・知人宅に避難	市外(宮城県内)親戚・知人宅に避難	宮城県外の親戚・知人宅に避難	仮設住宅に入居している	その他	不明
全体	2782	2320	48	25	9	81	222	77
	100.0	83.4	1.7	0.9	0.3	2.9	8.0	2.8
全壊	226	59	26	10	3	60	65	3
	100.0	26.1	11.5	4.4	1.3	26.5	28.8	1.3
大規模半壊	534	432	17	9	3	14	53	6
	100.0	80.9	3.2	1.7	0.6	2.6	9.9	1.1
半壊	540	496	5	3	0	4	29	3
	100.0	91.9	0.9	0.6	0.0	0.7	5.4	0.6
一部損壊	1173	1107	0	2	0	0	38	26
	100.0	94.4	0.0	0.2	0.0	0.0	3.2	2.2
その他	225	179	0	1	1	2	34	8
	100.0	79.6	0.0	0.4	0.4	0.9	15.1	3.6
不明	84	47	0	0	2	1	3	31
	100.0	56.0	0.0	0.0	2.4	1.2	3.6	36.9



問 27 【被害状況別】今後の居留意志

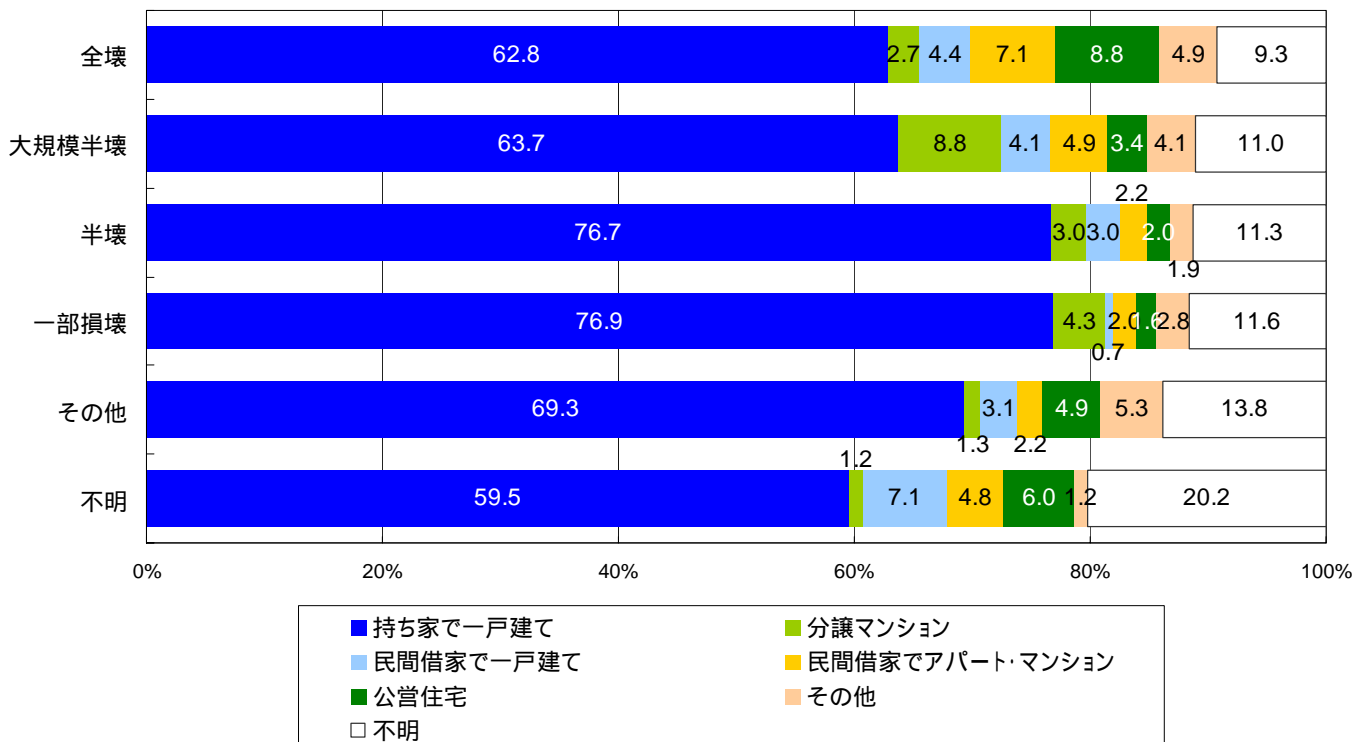


震災で被災された世帯の今後の住まいに対する考えについては、大規模半壊や半壊、一部損壊の被害状況の方については、「震災前の場所（自宅）に住み続けたい」と考えている方が大部分を占めている。

全壊の方は、「震災前の場所（自宅）に住み続けたい」と考えている方が最も多く約43%を占めているが、「塩竈市内の他の場所へ移転したい」と考えている世帯が約18%と多く、「わからない・決めていない」とする方も約15%にのぼっている。

	合計	問27 今後の住まいの場所						
		住み続けたい	同じ町内の別の場所	塩竈市内の他の場所	塩竈市外	その他	わからない・決めていない	不明
全体	2782	2181	44	120	95	48	168	126
	100.0	78.4	1.6	4.3	3.4	1.7	6.0	4.5
全壊	226	98	13	41	7	18	33	16
	100.0	43.4	5.8	18.1	3.1	8.0	14.6	7.1
大規模半壊	534	360	13	44	28	11	55	23
	100.0	67.4	2.4	8.2	5.2	2.1	10.3	4.3
半壊	540	453	5	19	13	5	27	18
	100.0	83.9	0.9	3.5	2.4	0.9	5.0	3.3
一部損壊	1173	1018	6	12	43	9	40	45
	100.0	86.8	0.5	1.0	3.7	0.8	3.4	3.8
その他	225	187	3	1	4	5	9	16
	100.0	83.1	1.3	0.4	1.8	2.2	4.0	7.1
不明	84	65	4	3	0	0	4	8
	100.0	77.4	4.8	3.6	0.0	0.0	4.8	9.5

問 28 【被害状況別】今後の希望する居住形態

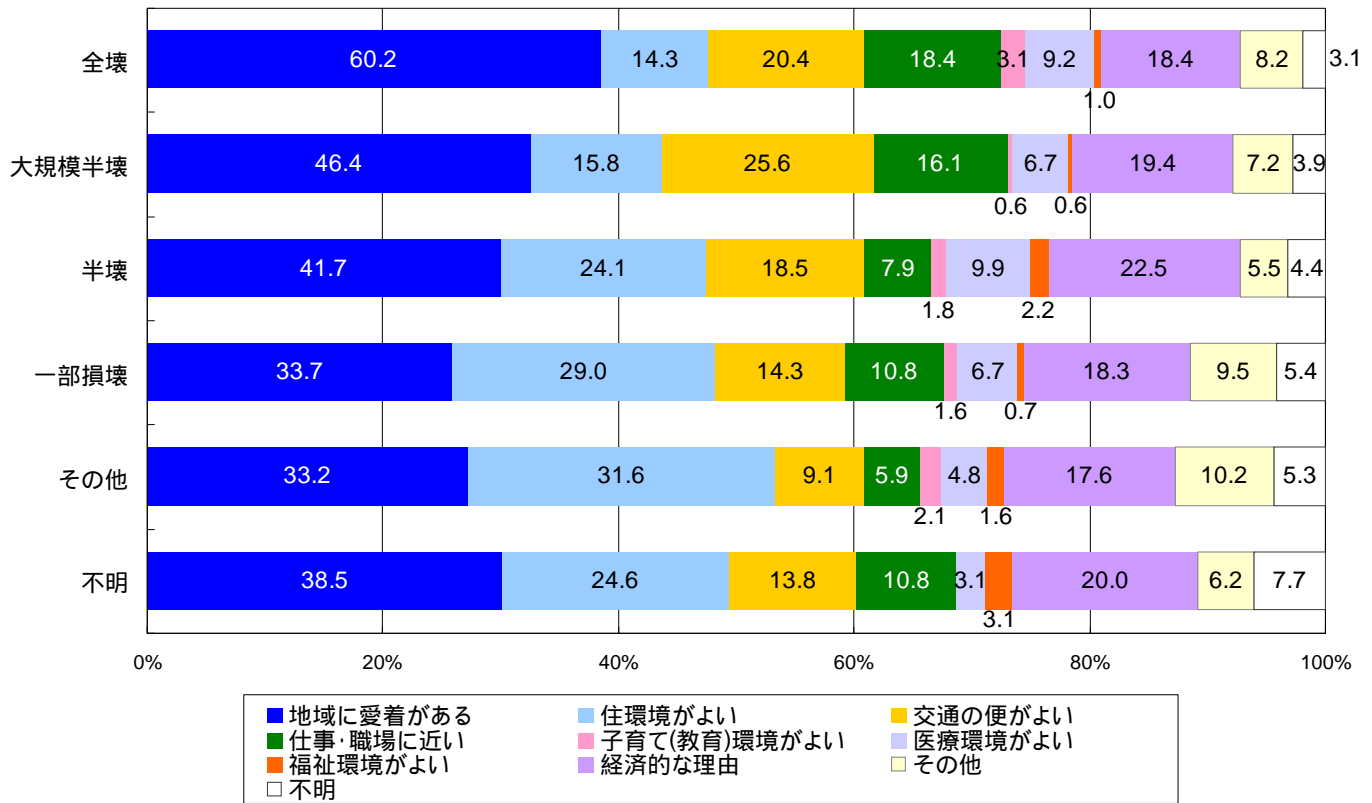


今後の住まいの希望については、いずれの被害状況の方も「持ち家で一戸建て」を希望する方が圧倒的に多い。

公営住宅を希望している世帯は、全壊の方が最も多く、約9%を占めている。

	合計	問28 今後の住まいの希望						不明
		持ち家で一戸建て	分譲マンション	民間借家で一戸建て	民間借家でアパート・マンション	公営住宅	その他	
全体	2782	2004	124	69	87	84	89	325
	100.0	72.0	4.5	2.5	3.1	3.0	3.2	11.7
全壊	226	142	6	10	16	20	11	21
	100.0	62.8	2.7	4.4	7.1	8.8	4.9	9.3
大規模半壊	534	340	47	22	26	18	22	59
	100.0	63.7	8.8	4.1	4.9	3.4	4.1	11.0
半壊	540	414	16	16	12	11	10	61
	100.0	76.7	3.0	3.0	2.2	2.0	1.9	11.3
一部損壊	1173	902	51	8	24	19	33	136
	100.0	76.9	4.3	0.7	2.0	1.6	2.8	11.6
その他	225	156	3	7	5	11	12	31
	100.0	69.3	1.3	3.1	2.2	4.9	5.3	13.8
不明	84	50	1	6	4	5	1	17
	100.0	59.5	1.2	7.1	4.8	6.0	1.2	20.2

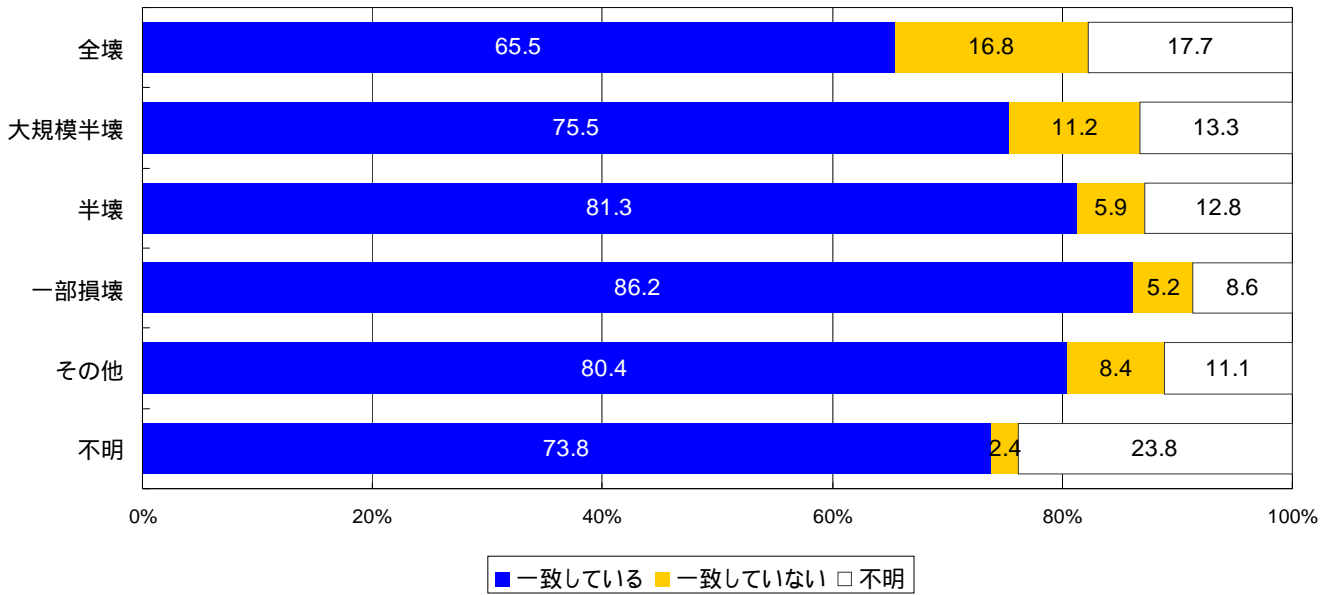
問31 【被害状況別】住み続ける理由



今後も震災前の場所に住み続けたいと回答した方の理由については、いずれの被害状況の方も、他の理由以上に「地域に愛着がある」とする方が最も多くを占めている。

	合計	問31 住み続ける理由									
		地域に愛着がある	住環境がよい	交通の便がよい	仕事・職場に近い	子育て(教育)環境がよい	医療環境がよい	福祉環境がよい	経済的な理由	その他	不明
全体	2181	845	550	368	240	33	157	25	422	179	107
	100.0	38.7	25.2	16.9	11.0	1.5	7.2	1.1	19.3	8.2	4.9
全壊	98	59	14	20	18	3	9	1	18	8	3
	100.0	60.2	14.3	20.4	18.4	3.1	9.2	1.0	18.4	8.2	3.1
大規模半壊	360	167	57	92	58	2	24	2	70	26	14
	100.0	46.4	15.8	25.6	16.1	0.6	6.7	0.6	19.4	7.2	3.9
半壊	453	189	109	84	36	8	45	10	102	25	20
	100.0	41.7	24.1	18.5	7.9	1.8	9.9	2.2	22.5	5.5	4.4
一部損壊	1018	343	295	146	110	16	68	7	186	97	55
	100.0	33.7	29.0	14.3	10.8	1.6	6.7	0.7	18.3	9.5	5.4
その他	187	62	59	17	11	4	9	3	33	19	10
	100.0	33.2	31.6	9.1	5.9	2.1	4.8	1.6	17.6	10.2	5.3
不明	65	25	16	9	7	0	2	2	13	4	5
	100.0	38.5	24.6	13.8	10.8	0.0	3.1	3.1	20.0	6.2	7.7

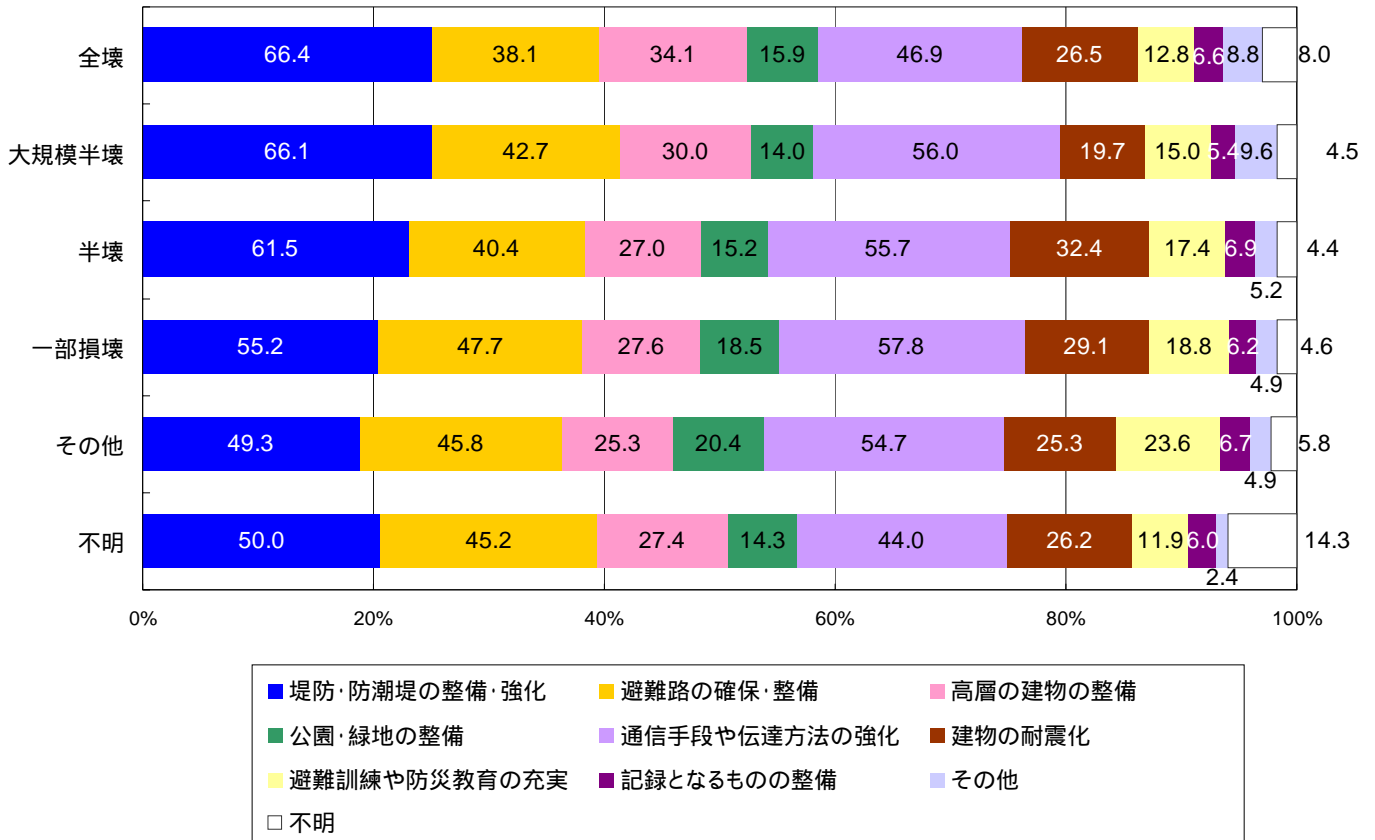
問 32 【被害状況別】今後についての家族の意思統一の有無



今後の住まいについては、いずれの被害状況の方も、家族の考えが「一致している」とされているが、全壊の方については、「一致していない」とする回答が他の被害状況の方に比べて多く、約 17%を占めている。

	合計	問32 家族と考えが一致しているのか		
		一致している	一致していない	不明
全体	2782 100.0	2244 80.7	212 7.6	326 11.7
全壊	226 100.0	148 65.5	38 16.8	40 17.7
大規模半壊	534 100.0	403 75.5	60 11.2	71 13.3
半壊	540 100.0	439 81.3	32 5.9	69 12.8
一部損壊	1173 100.0	1011 86.2	61 5.2	101 8.6
その他	225 100.0	181 80.4	19 8.4	25 11.1
不明	84 100.0	62 73.8	2 2.4	20 23.8

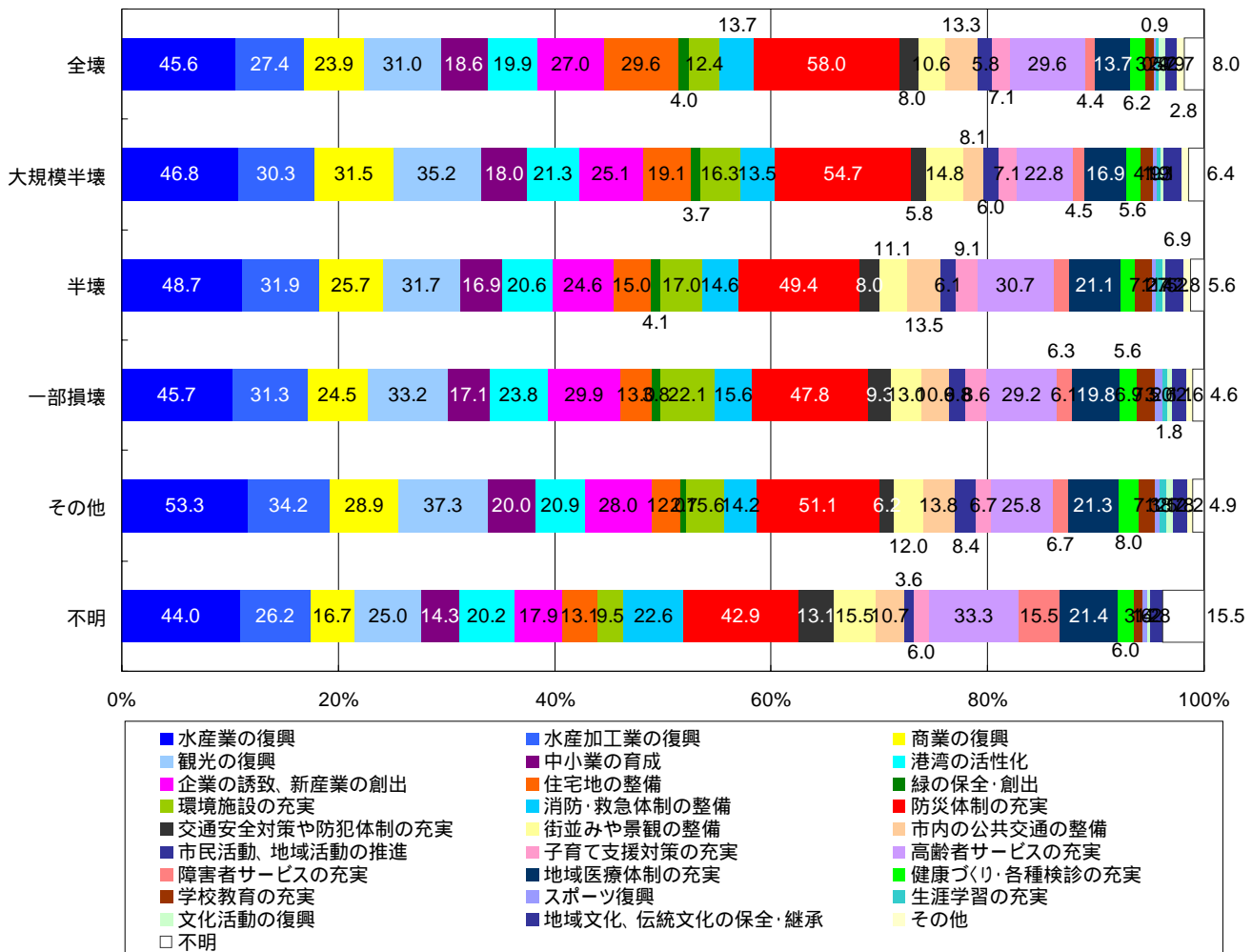
問 33 【被害状況別】今後必要な防災対策



今後必要な防災対策については、いずれの被害状況の方も、「浸水を防ぐ堤防・防潮堤の整備・強化」、「震災情報や避難情報の通信手段や伝達方法の強化」、「非常時に迅速に避難できる避難路の確保・整備」が多く挙げられている。

	合計	問33 どのような防災対策が重要か									
		堤防・防潮堤の整備・強化	避難路の確保・整備	高層の建物の整備	公園・緑地の整備	通信手段や伝達方法の強化	建物の耐震化	避難訓練や防災教育の充実	記録となるものの整備	その他	不明
全体	2782	1636	1232	787	468	1544	760	487	174	169	145
	100.0	58.8	44.3	28.3	16.8	55.5	27.3	17.5	6.3	6.1	5.2
全壊	226	150	86	77	36	106	60	29	15	20	18
	100.0	66.4	38.1	34.1	15.9	46.9	26.5	12.8	6.6	8.8	8.0
大規模半壊	534	353	228	160	75	299	105	80	29	51	24
	100.0	66.1	42.7	30.0	14.0	56.0	19.7	15.0	5.4	9.6	4.5
半壊	540	332	218	146	82	301	175	94	37	28	24
	100.0	61.5	40.4	27.0	15.2	55.7	32.4	17.4	6.9	5.2	4.4
一部損壊	1173	648	559	324	217	678	341	221	73	57	54
	100.0	55.2	47.7	27.6	18.5	57.8	29.1	18.8	6.2	4.9	4.6
その他	225	111	103	57	46	123	57	53	15	11	13
	100.0	49.3	45.8	25.3	20.4	54.7	25.3	23.6	6.7	4.9	5.8
不明	84	42	38	23	12	37	22	10	5	2	12
	100.0	50.0	45.2	27.4	14.3	44.0	26.2	11.9	6.0	2.4	14.3

問 34 【被害状況別】復興に向けて必要な取り組み



今後の塩竈市の復興に向けて必要な取り組みとしては、いずれの被害状況の方も概ね同様な傾向を示しており、「水産業の復興」、「水産加工業の復興」、「観光の復興」、「防災体制の充実」、「企業の誘致、新産業の創出」、「高齢者サービスの充実」などの取り組みが必要だとしている。

全壊の方は、他の被害状況の方に比べて、「住宅地の整備」を挙げた方が多く、約 30% を占めている。

	合計	問34 どのような取り組みが重要か								
		水産業の復興	水産加工業の復興	商業の復興	観光の復興	中小業の育成	港湾の活性化	企業の誘致、新産業の創出	住宅地の整備	緑の保全・創出
全体	2782 100.0	1309 47.1	862 31.0	727 26.1	923 33.2	487 17.5	613 22.0	757 27.2	440 15.8	101 3.6
全壊	226 100.0	103 45.6	62 27.4	54 23.9	70 31.0	42 18.6	45 19.9	61 27.0	67 29.6	9 4.0
大規模半壊	534 100.0	250 46.8	162 30.3	168 31.5	188 35.2	96 18.0	114 21.3	134 25.1	102 19.1	20 3.7
半壊	540 100.0	263 48.7	172 31.9	139 25.7	171 31.7	91 16.9	111 20.6	133 24.6	81 15.0	22 4.1
一部損壊	1173 100.0	536 45.7	367 31.3	287 24.5	389 33.2	201 17.1	279 23.8	351 29.9	152 13.0	44 3.8
その他	225 100.0	120 53.3	77 34.2	65 28.9	84 37.3	45 20.0	47 20.9	63 28.0	27 12.0	6 2.7
不明	84 100.0	37 44.0	22 26.2	14 16.7	21 25.0	12 14.3	17 20.2	15 17.9	11 13.1	0 0.0

	合計	問34 どのような取り組みが重要か								
		環境施設の充実	消防・救急体制の整備	防災体制の充実	交通安全対策や防犯体制の	街並みや景観の整備	市内の公共交通の整備	市民活動、地域活動の推進	子育て支援対策の充実	高齢者サービスの充実
全体	2782 100.0	509 18.3	416 15.0	1402 50.4	226 8.1	355 12.8	314 11.3	180 6.5	224 8.1	783 28.1
全壊	226 100.0	28 12.4	31 13.7	131 58.0	18 8.0	24 10.6	30 13.3	13 5.8	16 7.1	67 29.6
大規模半壊	534 100.0	87 16.3	72 13.5	292 54.7	31 5.8	79 14.8	43 8.1	32 6.0	38 7.1	122 22.8
半壊	540 100.0	92 17.0	79 14.6	267 49.4	43 8.0	60 11.1	73 13.5	33 6.1	49 9.1	166 30.7
一部損壊	1173 100.0	259 22.1	183 15.6	561 47.8	109 9.3	152 13.0	128 10.9	80 6.8	101 8.6	342 29.2
その他	225 100.0	35 15.6	32 14.2	115 51.1	14 6.2	27 12.0	31 13.8	19 8.4	15 6.7	58 25.8
不明	84 100.0	8 9.5	19 22.6	36 42.9	11 13.1	13 15.5	9 10.7	3 3.6	5 6.0	28 33.3

	合計	問34 どのような取り組みが重要か									
		障害者サービスの充実	地域医療体制の充実	健康づくり・各種検診の充実	学校教育の充実	スポーツ復興	生涯学習の充実	文化活動の復興	地域文化、伝統文化の保全・継	その他	不明
全体	2782 100.0	168 6.0	533 19.2	178 6.4	180 6.5	61 2.2	54 1.9	48 1.7	176 6.3	71 2.6	160 5.8
全壊	226 100.0	10 4.4	31 13.7	14 6.2	8 3.5	2 0.9	2 0.9	6 2.7	11 4.9	6 2.7	18 8.0
大規模半壊	534 100.0	24 4.5	90 16.9	30 5.6	26 4.9	10 1.9	7 1.3	6 1.1	37 6.9	15 2.8	34 6.4
半壊	540 100.0	34 6.3	114 21.1	30 5.6	39 7.2	9 1.7	13 2.4	8 1.5	39 7.2	15 2.8	30 5.6
一部損壊	1173 100.0	72 6.1	232 19.8	81 6.9	88 7.5	35 3.0	25 2.1	21 1.8	72 6.1	30 2.6	54 4.6
その他	225 100.0	15 6.7	48 21.3	18 8.0	16 7.1	4 1.8	7 3.1	6 2.7	13 5.8	5 2.2	11 4.9
不明	84 100.0	13 15.5	18 21.4	5 6.0	3 3.6	1 1.2	0 0.0	1 1.2	4 4.8	0 0.0	13 15.5